

第 1 章 築上町の概況

1. 築上町の現況

1.1 位置と地勢

- 周防灘に面し、北部の平野（市街地）と南部の山林を多くの河川が結んでいる
- 国道10号や椎田道路及びJR日豊本線により北九州市や大分市と連絡

築上町は福岡県の東部、周防灘に面して位置し、北は行橋市、西はみやこ町、東は豊前市、南は大分県中津市に面しています。築上町の総面積は119.3k m²で南部はほとんどが山林で占められており、そこを源とする多くの河川が北部の平野を潤し、周防灘に注いでいます。

気候は、瀬戸内海型気候に属し、比較的温暖で、少雨、乾燥地域です。地震や自然災害の少ない地域です。

築上町の北部を北西から南東にかけて国道10号や椎田道路及びJR日豊本線が貫き、これらと交差して主要道路や一般県道が整備され、北九州市、大分市などの地方中核都市と連絡しています。空の玄関である北九州空港までは約20km圏に位置しています。



図 築上町の位置

1.2 沿革

- 旧椎田町、旧築城町の深い歴史を受け継ぐ
- 椎田駅・築城駅と築城基地の開設等により発展

本町は、平成 18 年(2006 年)1 月 10 日に、旧椎田町と旧築城町が合併し新町「築上町」が誕生しました。2 町は、古くから行政、文化、生活等広い範囲で結びつきが強く、住民間の交流も活発でした。築上町としての歴史は、旧椎田町、旧築城町の深い歴史をそのまま受け継いでいます。

旧椎田町は、およそ三千年前の石町遺跡・岩陰遺跡にみられる縄文時代までさかのぼることができます。古墳時代、この地方一帯は「豊の国」と呼ばれ、7 世紀になって豊前・豊後に分かれました。明治 30 年(1897 年)、行橋・柳ヶ浦間に豊州鉄道が開通し椎田駅が設置され、翌年椎田村は椎田町となり、昭和 17 年、八津田村に海軍航空隊築城基地(現在の航空自衛隊築城基地)が開設されました。昭和 30 年(1955 年)、椎田町、八津田村、葛城村、西角田村の 1 町 3 村が合併し、椎田町となりました。

一方、旧築城町はかつての豊前国に属し、古来より稲作を中心とした、純農村地帯として発展してきました。近代に入って、明治 22 年(1889 年)市町村制の施行により、上城井村、下城井村、築城村となり、昭和 30 年(1955 年)4 月 1 日、町村合併促進法により三村合併が行われ築城町が誕生しました。翌 31 年(1956 年)5 月には、椎田町東八田の一部を境界変更により編入しました。

2. 人口

2.1 人口・世帯数

2.1.1 人口の推移

- 人口は京築広域圏平均を上回る減少傾向。特に山間地域での減少が顕著
- JR 椎田駅周辺、および JR 築城駅周辺における人口密度が高い
- 自然動態、社会動態ともに減少しており、経年的に減少は拡大傾向

(1) 人口の推移

本町の人口は、平成 17 年現在 20,837 人であり、福岡県全体では増加傾向が続いていますが、京築広域圏は減少（H12～H17 年で 2.1%減少）しており、本町の人口も京築広域圏を上回る減少傾向にあります。また、町内すべての地域で減少傾向にあります。また、椎田地域の減少率は町平均よりも緩やかであり、山間地域は 10%を超える減少率を示しています。

表 人口の推移(国勢調査)

	S60	H2	H7	H12	H17	増減率(%) (H12-H17)
椎田地域	－	－	－	11,525	11,192	▲ 2.9
築城地域	－	－	－	8,161	7,702	▲ 5.6
山間地域	－	－	－	2,162	1,943	▲ 10.1
築上町	25,706	24,383	23,070	21,848	20,837	▲ 4.6
福岡県	4,719,259	4,811,050	4,933,393	5,015,699	5,049,908	0.7
京築地域	197,998	196,334	196,046	195,573	191,521	▲ 2.1

※S60～H7 までの椎田地域、築城地域、山間地域のデータは不明

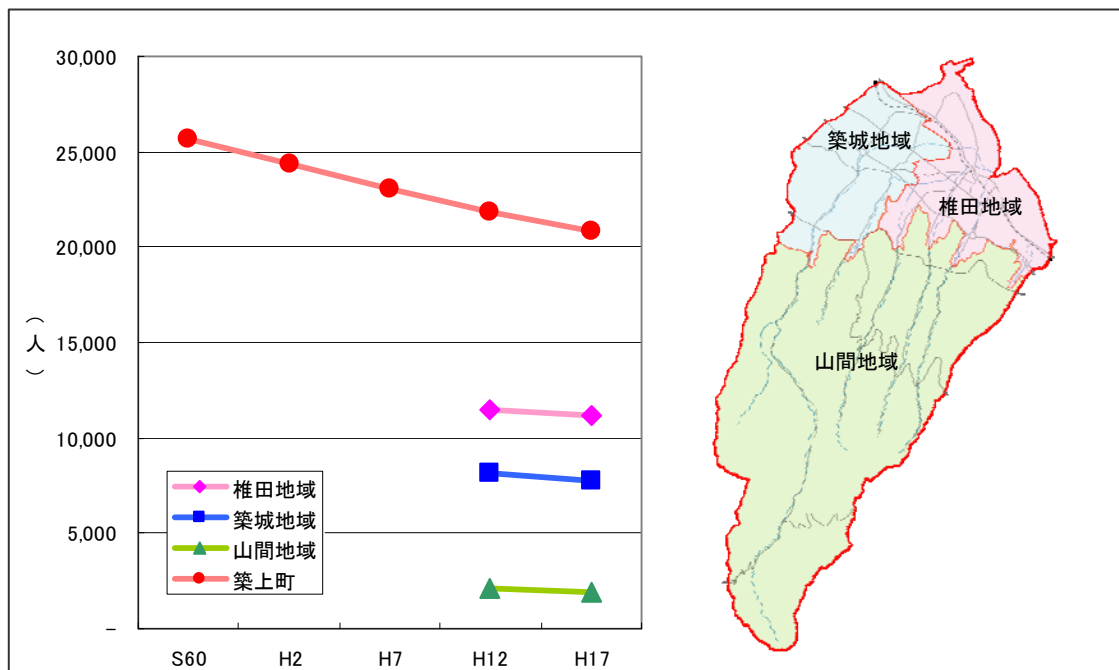


図 人口の推移(国勢調査)

(2) 人口密度

用途地域が指定されている椎田中心部において、人口密度が 40 人/ha 以上と高くなっています。準都市計画区域に指定されている JR 築城駅周辺においても、人口密度が 50 人/ha と高い値を示しています。

旧来からの中心部である JR 椎田駅、築城駅周辺に人口が集中しており、その周辺では次第に人口密度は低くなっています。

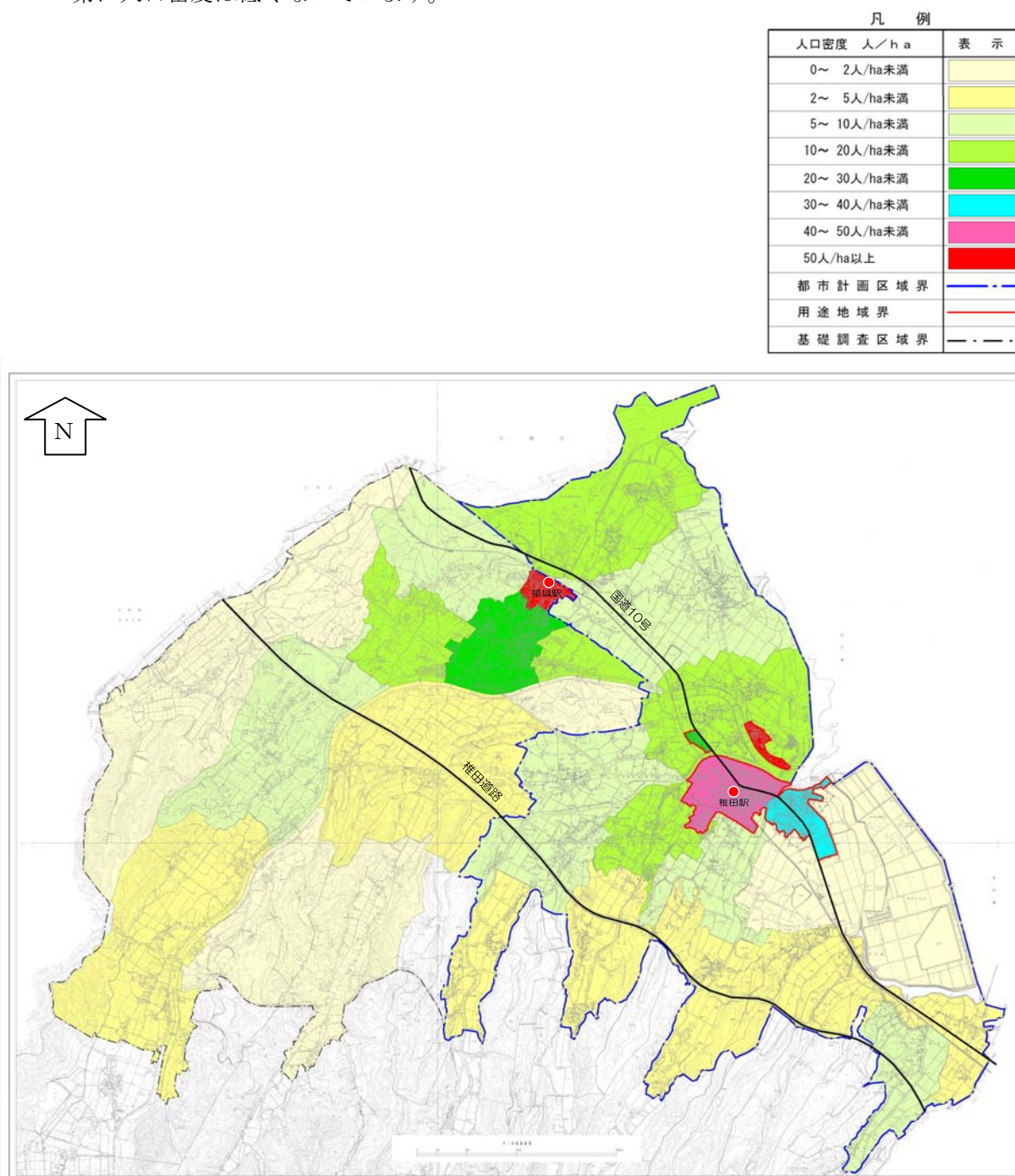


図 人口密度分布図（平成 17 年国勢調査）

(3) 人口動態（自然・社会増減）

人口動態から増減の内訳をみると、平成11年以降毎年90～300人減少しています。自然動態では、平成11年以降毎年50人以上減少し、社会動態も平成11年以降毎年減少しており、減少数は拡大傾向にあります。

表 人口動態(住民基本台帳)

(単位:人)

	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度
自然増	-93	-50	-58	-81	-111	-91	-133	-76
社会増	-71	-61	-240	-10	-118	-159	-68	-182
合計	-164	-111	-298	-91	-229	-250	-201	-258

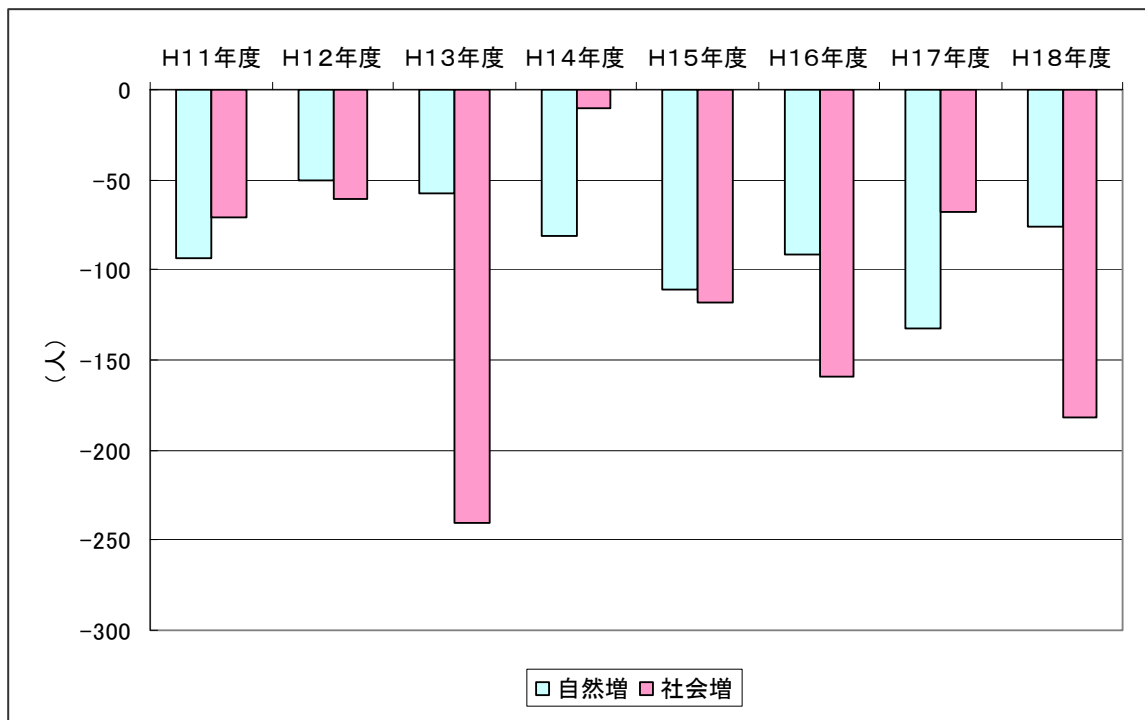


図 人口動向(住民基本台帳)

2.1.2 世帯数の推移

- 世帯数、世帯人員ともに減少傾向
- 世帯数減少は、特に椎田地域が顕著

平成 17 年現在、本町の世帯数は 7,520 戸であり、平成 12 年をピークに減少に転じています。世帯人数は経年的に減少しており、核家族化が進行しているといえます。

また、地域別に見ると、椎田地域が 3,972 戸、次いで築城地域が 2,818 戸、山間部地域が 724 戸で平成 12 年度からの増加率（減少率）は、椎田地域が 6.1%で最も減少率が高く、山間部地域で 5.4%、築城地域で 2.1%の減少率になっています。

表 世帯数の推移(国勢調査)

	S60	H2	H7	H12	H17	増減率(%) (H12-H17)
人口(人)	25,706	24,383	23,070	21,848	20,837	▲ 4.6
世帯(戸)	7,426	7,407	7,521	7,878	7,520	▲ 4.5
世帯人数(人/世帯)	3.5	3.3	3.1	2.8	2.8	－

表 地域別世帯数の推移(上:世帯数、下:世帯人数)(国勢調査)

	S60	H2	H7	H12	H17	増減率(%) (H12-H17)
椎田地域	－	－	－	4,230	3,972	▲ 6.1
	－	－	－	2.7	2.8	－
築城地域	－	－	－	2,877	2,818	▲ 2.1
	－	－	－	2.8	2.7	－
山間地域	－	－	－	765	724	▲ 5.4
	－	－	－	2.8	2.7	－
築上町	7,426	7,407	7,521	7,878	7,520	▲ 4.5
				2.8	2.8	－

※S60-H7 までの椎田地域、築城地域、山間地域のデータは不明

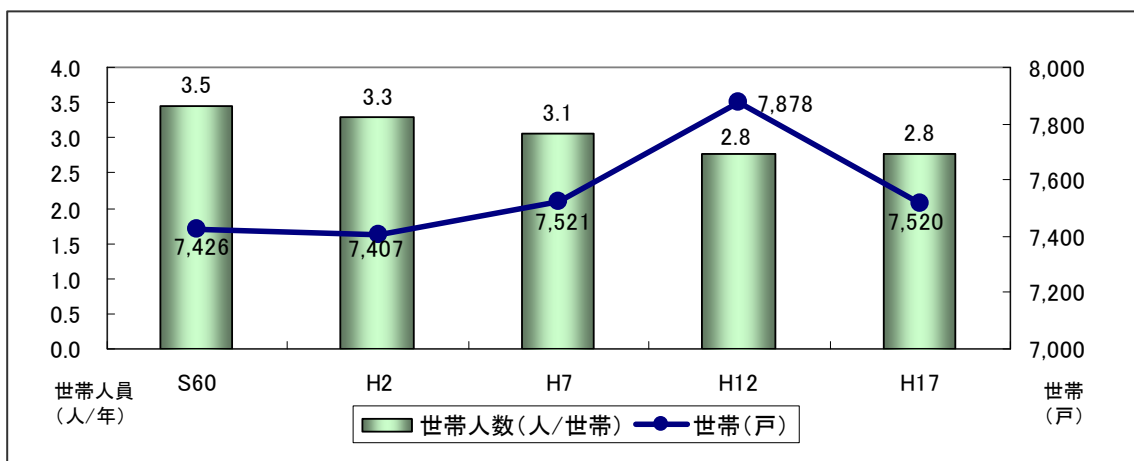


図 世帯数の推移(国勢調査)

2.2 年齢別人口

- 少子、高齢化の進行、高齢化率は県平均より進んでいる
- 平成17年現在、高齢化率27.1% 4人に1人以上が65歳以上の高齢者

本町の年齢別人口は、平成17年現在、年少人口（0歳～14歳）2,666人、生産年齢人口（15歳～64歳）13,184人、老年人口（65歳以上）5,710人となっており、同人口構成比は、12.7%、60.2%、27.1%であり、県平均14.0%、66.2%、19.9%と比べて老年人口の割合が高くなっています。

各区分別の構成比の推移は、平成7年より老年人口が年少人口の割合を上回り、今後も少子・高齢化が進行すると予想されます。

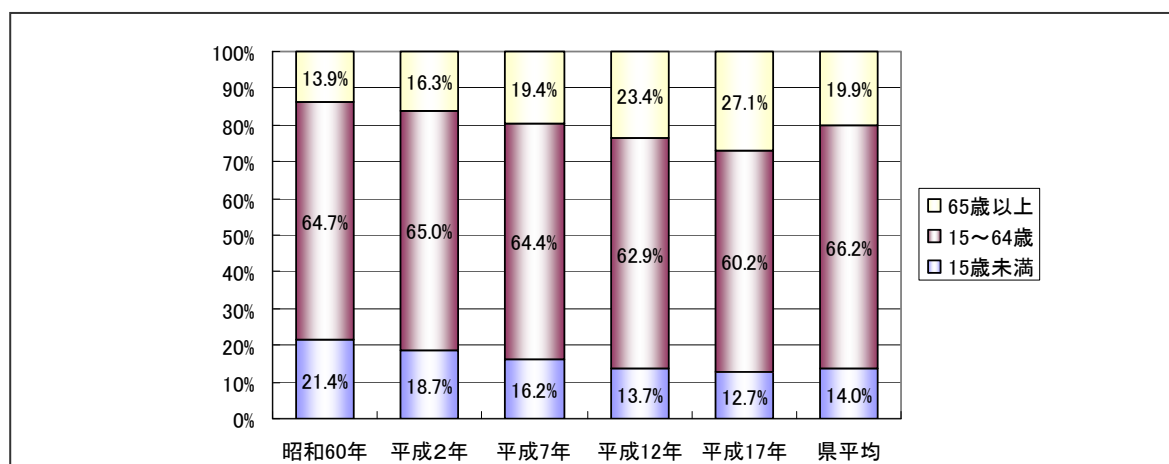


図 年齢別人口構成比の推移(国勢調査)

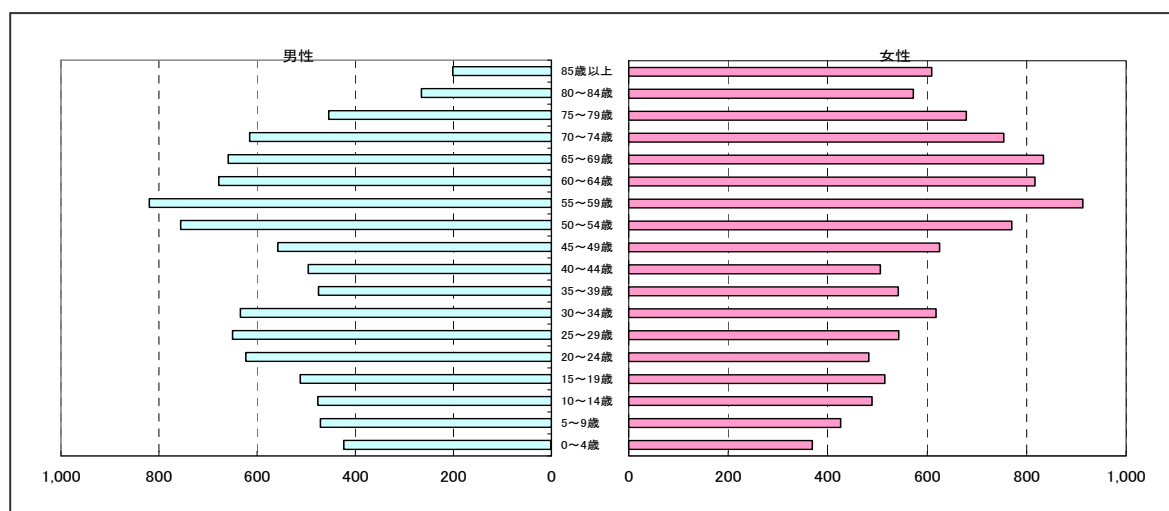


図 年齢別人口の内訳(平成17年国勢調査)

2.3.2 都市性格分類

- 築上町は「住機能型」
- 経年的には、自町内就業率が低下

本町は、平成17年現在、県平均と比較して昼夜間人口・自町内就業率ともに低い状況にあり、都市性格指標としては、「住機能型」に分類されます。また、経年的には、自町内就業率が低下しており、「住機能型」の性格を強めています。

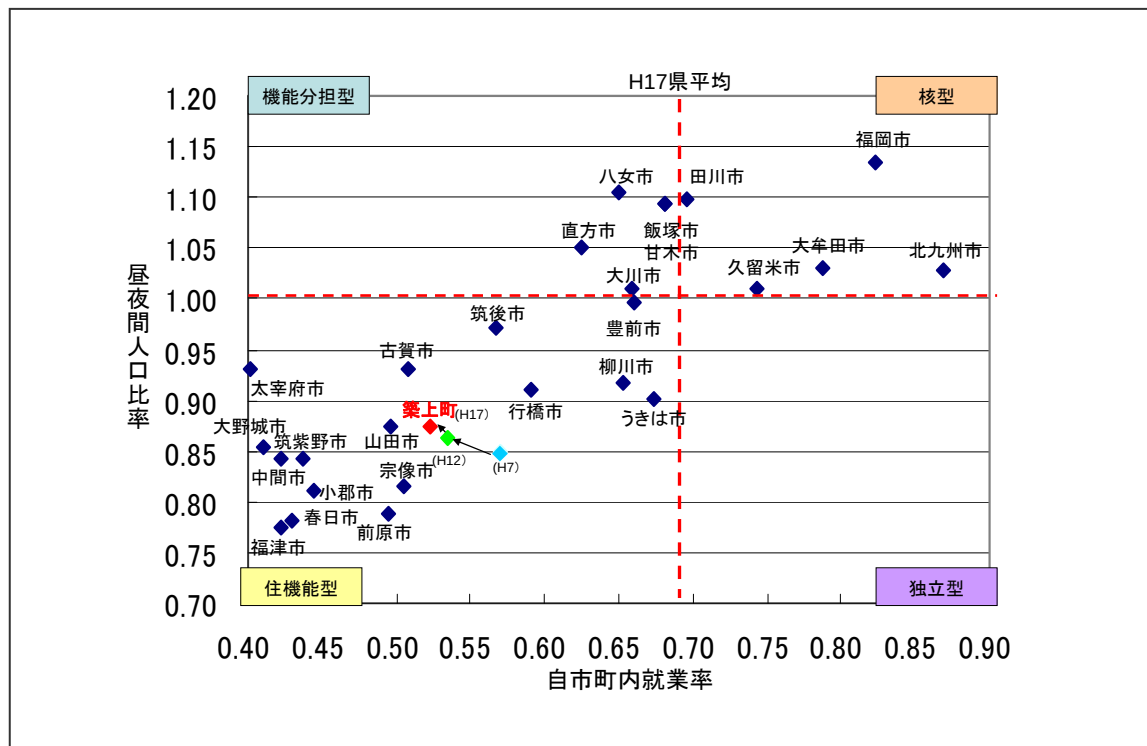


図 県内主要都市の自市町内就業率・昼夜間人口比率 (H17 国勢調査)

※都市性格概要

核型：自市内で働く人が多く、就業・就学者を含めた昼間の人口が多い都市であり、生活圏における中心都市として機能
 独立型：自市内で働く人が多いが、昼間の人口は多くない都市であり、1都市である程度独立した生活圏を形成
 住機能型：自市内で働く人は少なく、夜間の人口が多い都市であり、周辺都市等のベッドタウンとして機能
 機能分担型：自市内で働く人は少ないが、昼間の人口が多い都市であり、職等の機能に特化

3. 産業

3.1 産業分類別人口

- 第1次産業の割合が高いことが特徴
- 第1次産業の減少が顕著

産業別就業者人口の構成は、平成17年現在で第1次10.8%、第2次28.3%、第3次62.9%と第3次産業就業者の割合が最も高くなっています。県平均と比較すると第1次産業の割合が高く、第3次産業の割合が低くなっており、第1次産業の割合が高いことが特徴といえます。

就業者数の推移をみると、第1次産業の減少が顕著であり、昭和60年から平成17年の間に半減しています。

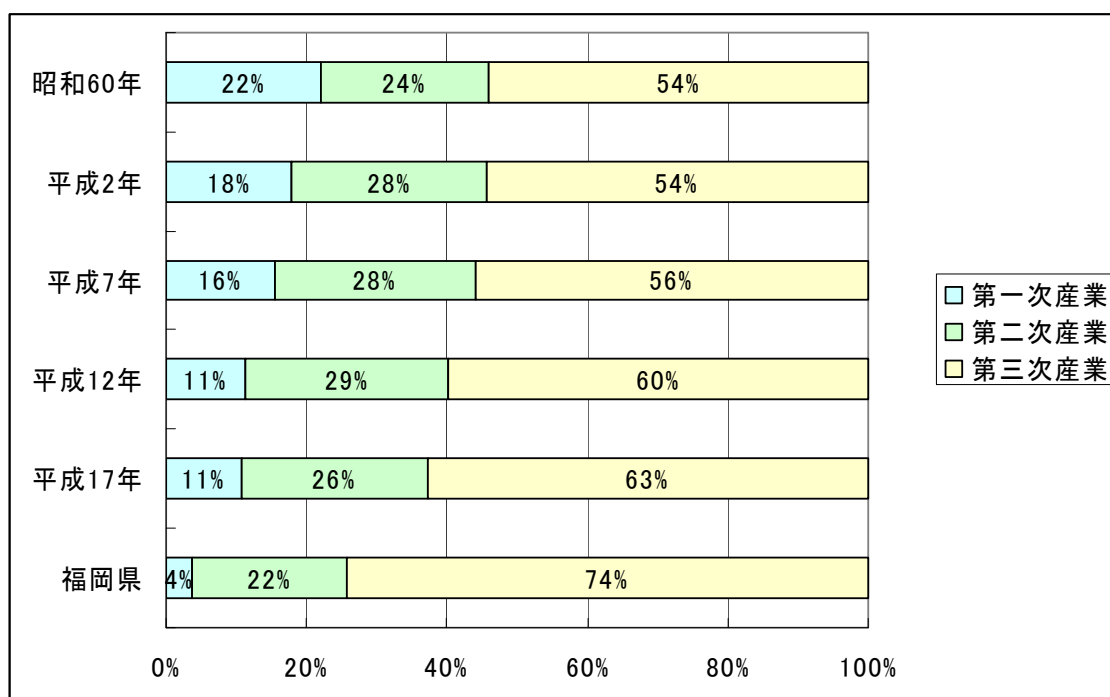


図 産業別就業者数の推移(国勢調査)

3.2 第1次産業の状況

●特色ある特産品を有するが、経営規模等の縮小が顕著

(1) 農業の状況

平成17年現在、1,694戸、耕地面積1,368haになっています。経年的に農家数、耕地面積ともに減少しています。特産品としては、ブランド米である「豊築宝（ゆきほ）」を生産しています。

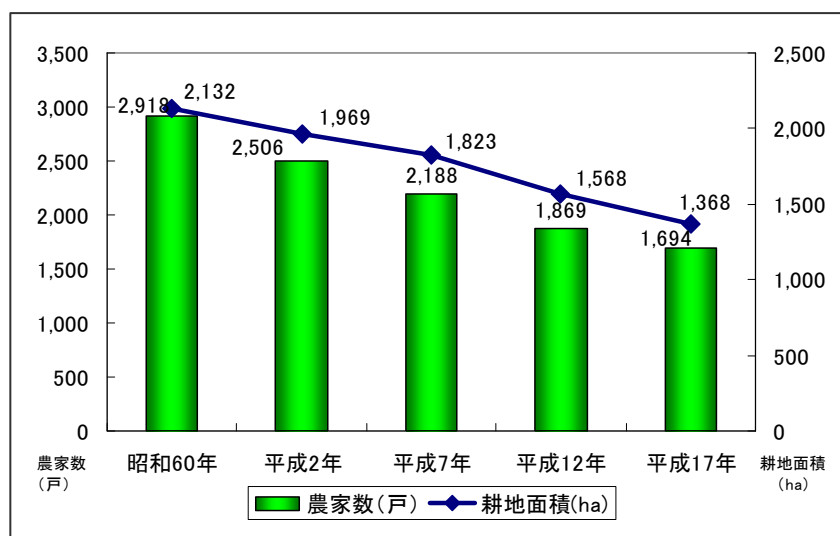


図 農家数と耕地面積の推移(農業センサス)

(2) 林業の状況

平成17年現在、林家数(経営体数)175経営体、保有山林面積1,329haになっています。経年的に経営体数、保有山林面積ともに減少しています。特産品としては、「京築ヒノキ」を生産しています。

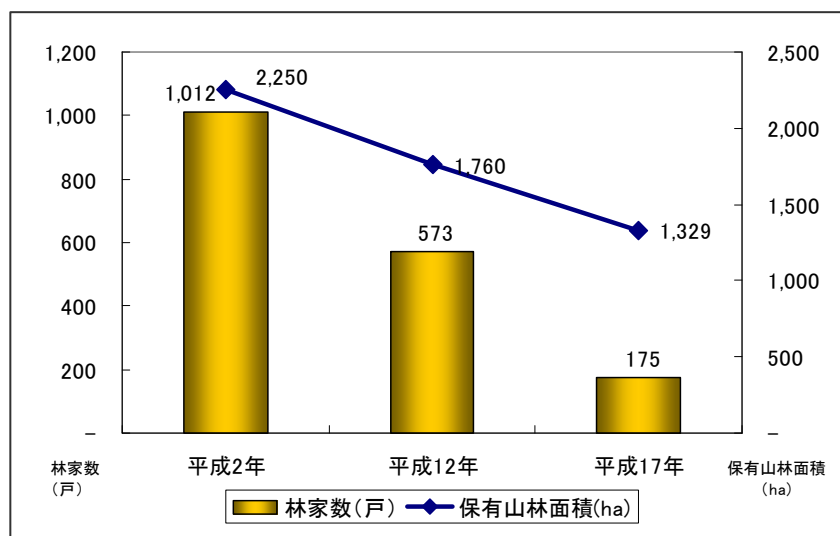


図 林家数と保有山林面積の推移(農林業センサス)

※ 平成17年については、家族型経営体数を集計、また昭和60年、平成7年は調査無し

(3) 漁業経営体の推移

平成15年現在、18経営体。また平成17年現在、漁獲量は81tになっています。経年的に経営体数は減少しています。魚類のほか、アサリ・ワタリガニ・カキが特産品になっています。

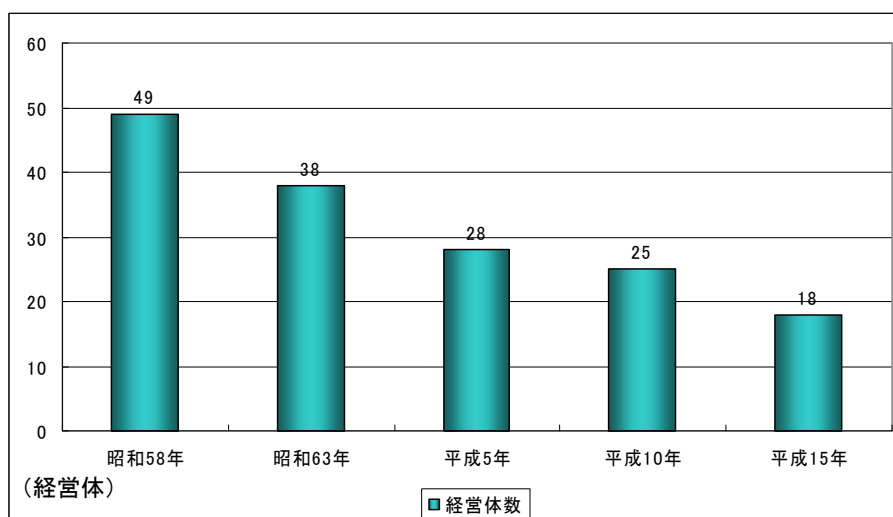


図 漁業経営体の推移(漁業センサス)

表 魚種別漁獲量(平成17年海面漁業生産統計調査)

魚類	計	81
魚類	計	66
	このしろ	2
	かれい類	2
	にべ・ぐち類	x
	あなご類	x
	えい類	1
	くろだい・へだい	14
	ぼら類	24
	すずき類	5
	その他魚類	15
かに類	がざみ類	6
いか類	こういか類	7
	その他いか類	1
たこ類		1

3.3 第2次・第3次産業の状況

- 工業：事業所数は減少傾向、製造品出荷額等は増加傾向
- 商業：事業所数は減少傾向、年間販売額は近年増加傾向

(1) 製造品出荷額等及び事業所数の推移

平成16年現在、事業所数20件、製造品出荷額等は97億円になっています。

経年的には、事業所数は減少傾向にありますが、年間販売額は増加傾向にあり、事業所当たりの年間販売額が増加しています。

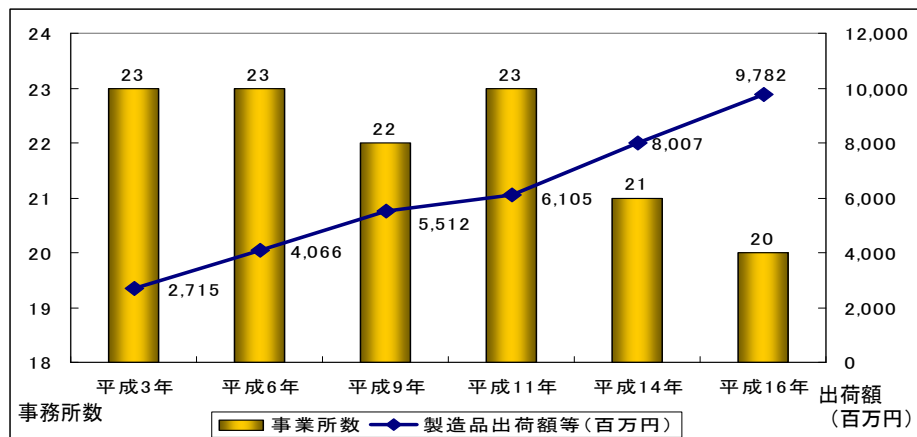


図 事業所数、製造品出荷額の推移(工業統計調査)

(2) 年間販売額及び事業所数の推移

平成16年現在、事業所数266件、年間販売額147億円になっています。

経年的には、事業所数は減少傾向にありますが、年間販売額は近年増加しており、事業所当たりの年間販売額が増加しています。

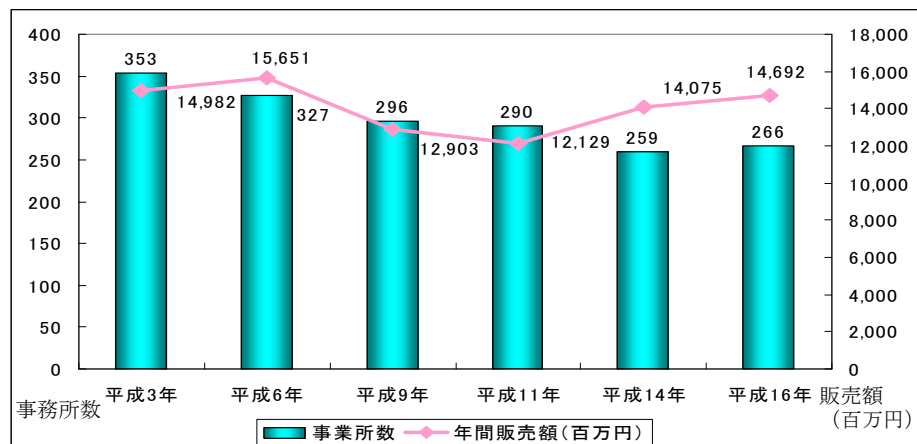


図 事業所数、年間販売額の推移(商業統計調査)

3.4 観光

- 町全体の観光客数は、近年上昇傾向
- 観光客は、県内からの訪問する人が多く、日帰りで訪問

平成 18 年現在、観光客数は 48 万 6,000 人になっています。経年的には減少傾向でしたが、平成 18 年に上昇へ転じています。

観光客数の内訳は、日帰りが 48 万 2,000 人、宿泊が 4,000 人、県内から 42 万 8,000 人、県外から 5 万 8,000 人と県内・日帰りの観光客が多くなっています。

主な観光施設の中で「しいだアグリパーク」の観光客が近年増加しています。

また、観光物産施設「メタセの杜」が県道 58 号(椎田勝山線)沿いに立地しており、H18 年度で 268,834 人/年、H19 年度で 411,157 人/年（庁内資料）と高い集客力があります。

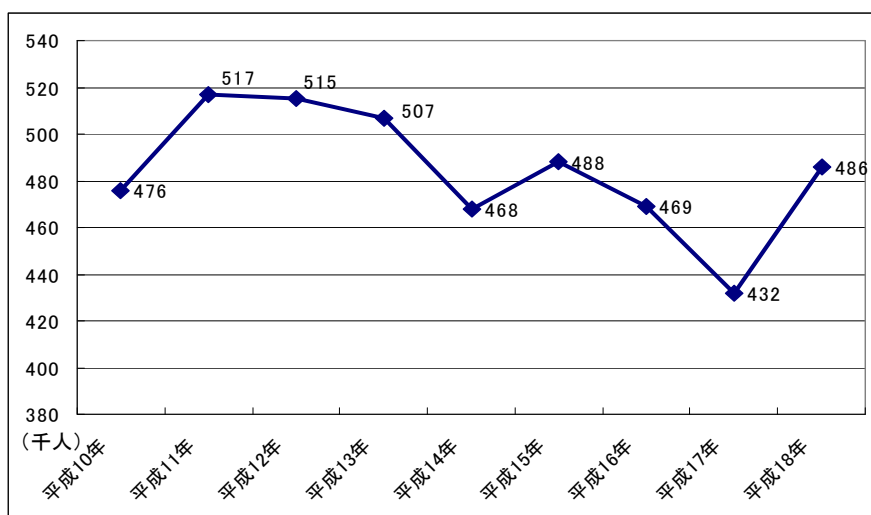


図 観光客数の推移(福岡県観光入込客推計調査)

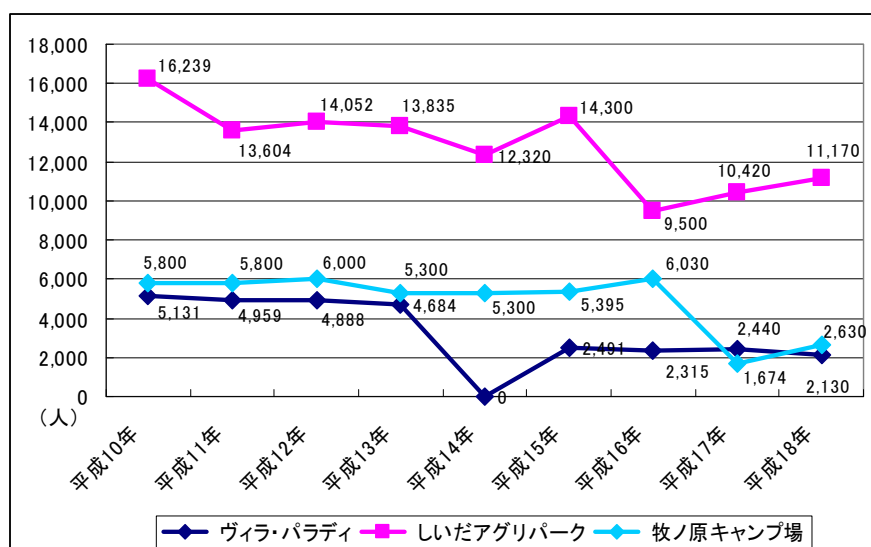


図 主な観光施設の観光客数の推移(福岡県観光入込客推計調査)

(注：ヴィラ・パラディは、平成 14 年は閉鎖のため観光客数のデータなし)

4. 土地利用

4.1 土地利用の状況

4.1.1 地形

- 「うみ」と「やま」を「かわ」が結ぶ地形
- 山林部での東西方向の一体性が低い

本町は、周防灘に面する北部の平坦部と南部の大半を占める山林・丘陵地より構成されています。また、山林から周防灘に至るいくつかの河川により、手の指を広げたような形で沢が形成され、集落地や農地（棚田）などが形成されています。したがって、山林部では東西方向の地形上の一体性が低く、町全体として南部の山林部と北部の平坦地との一体性が高くなっています。

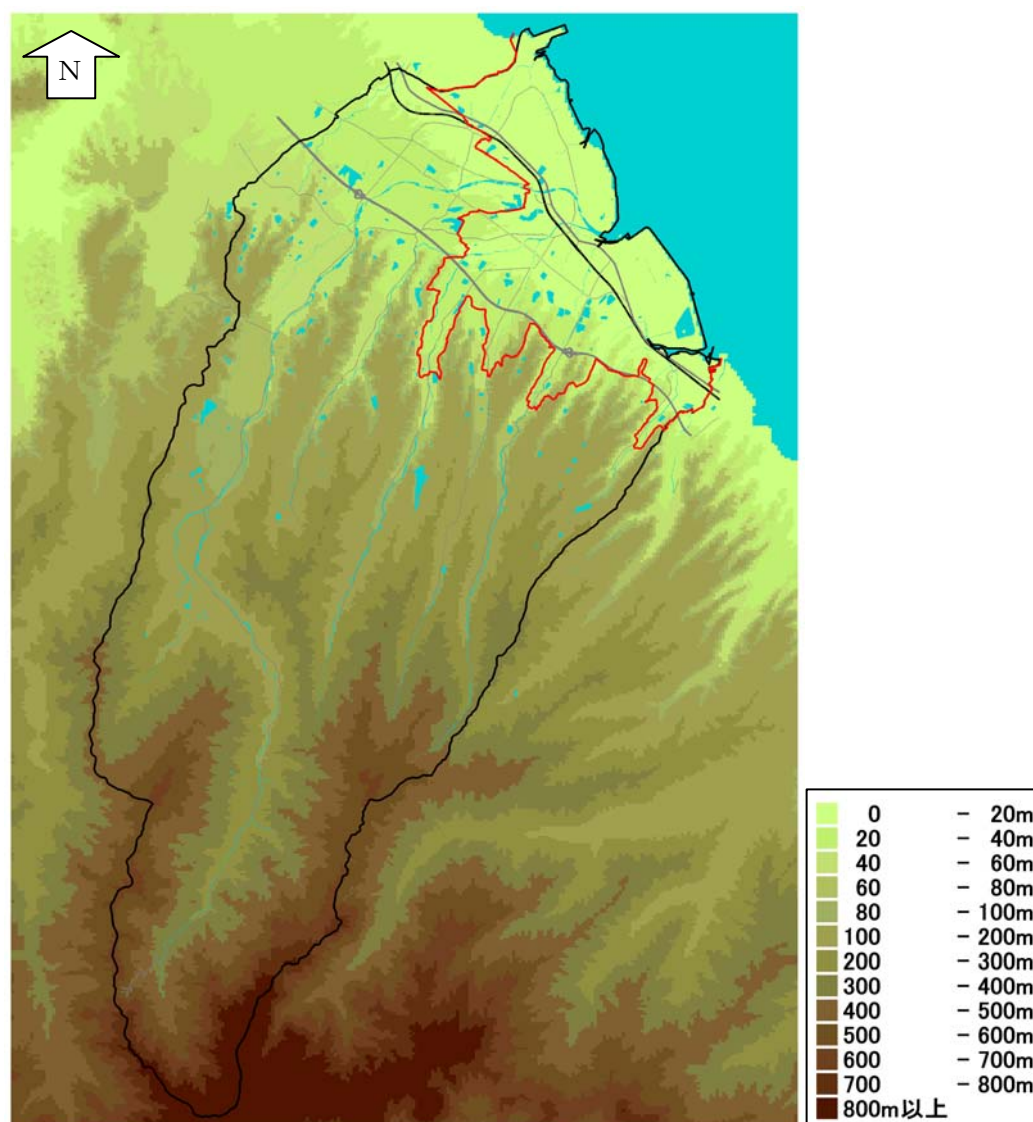


図 地形図

4.1.2 土地利用の状況

- 農地、山林等の自然的土地利用が7割強
- 特に「田」が全体の4割弱
- 「住宅用地」は、JR椎田駅、JR築城駅周辺などに集中

本町の土地利用構成は、農用地（田・畑）が約42%、山林・水面・その他自然地在が約32%、宅地（住宅用地）が約10%、その他公共用地が約16%であり、自然的土地利用が約7割を占めており、特に「田」は約4割を占めています。

宅地に関しては、JR椎田駅およびJR築城駅周辺に集中しています。また工業用地は国道10号沿道などを中心に点在しています。

一方、全体の4割を占める田は、町内に広く分布しています。

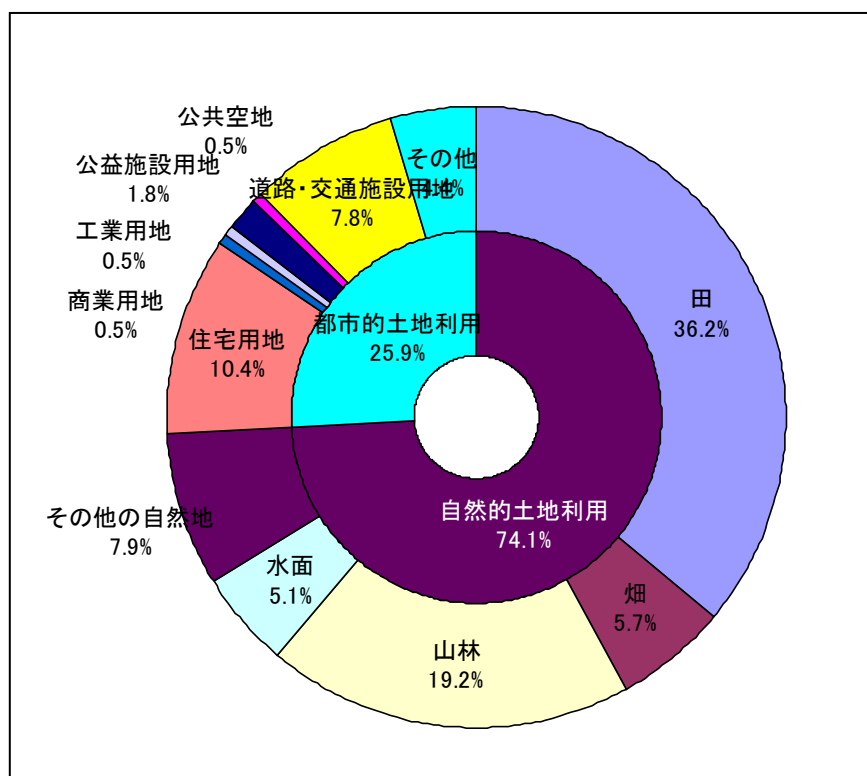


図 土地利用面積割合

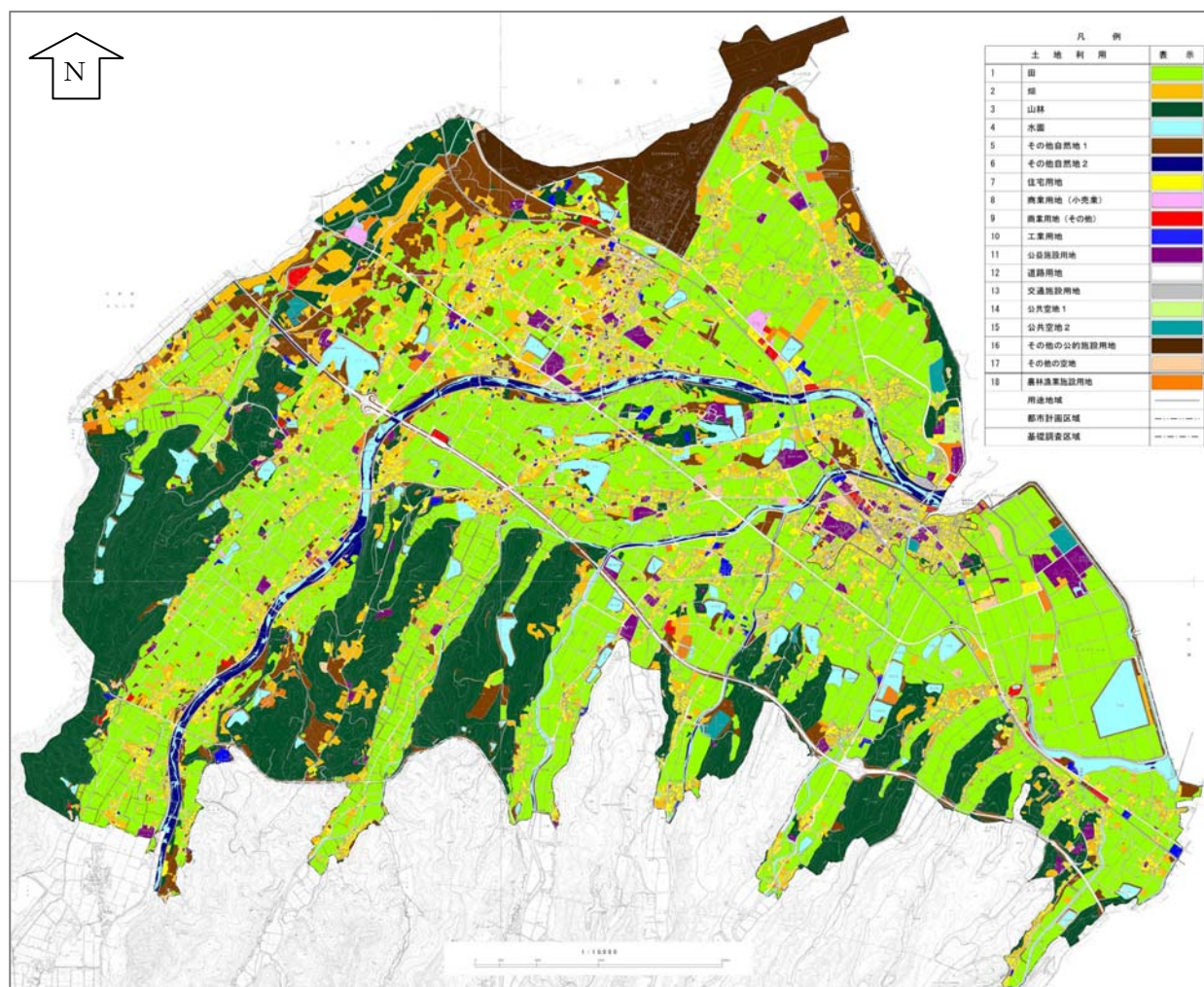


図 土地利用現況図(都市計画基礎調査(H20))

(注) 都市計画基礎調査

平成20年度都市計画基礎調査は、上記に示すように都市計画区域及びその周辺部を対象に実施されています。(以下同様)

4.2 法規制状況

4.2.1 法規制の状況

- 平坦地の農地は、「農用地区域」指定による開発規制を実施
- 築城地区(JR築城駅周辺部)の農地の一部は、開発可能な地域が存在

本町では、都市計画法による指定（都市計画区域、準都市計画区域、用途地域、準防火地域）、農業振興地域の整備に関する法律による指定（農業振興地域、農用地区域）、森林法による適用（地域森林計画対象民有地、保安林）、自然公園法による指定（自然公園地域、特別地域）、急傾斜地法による規制があります。

平坦地の農地は、「農用地区域」指定による開発規制を実施していますが、JR 築城駅周辺部の農地の一部（下図○印）は農用地が指定されていない開発可能な地域となっています。

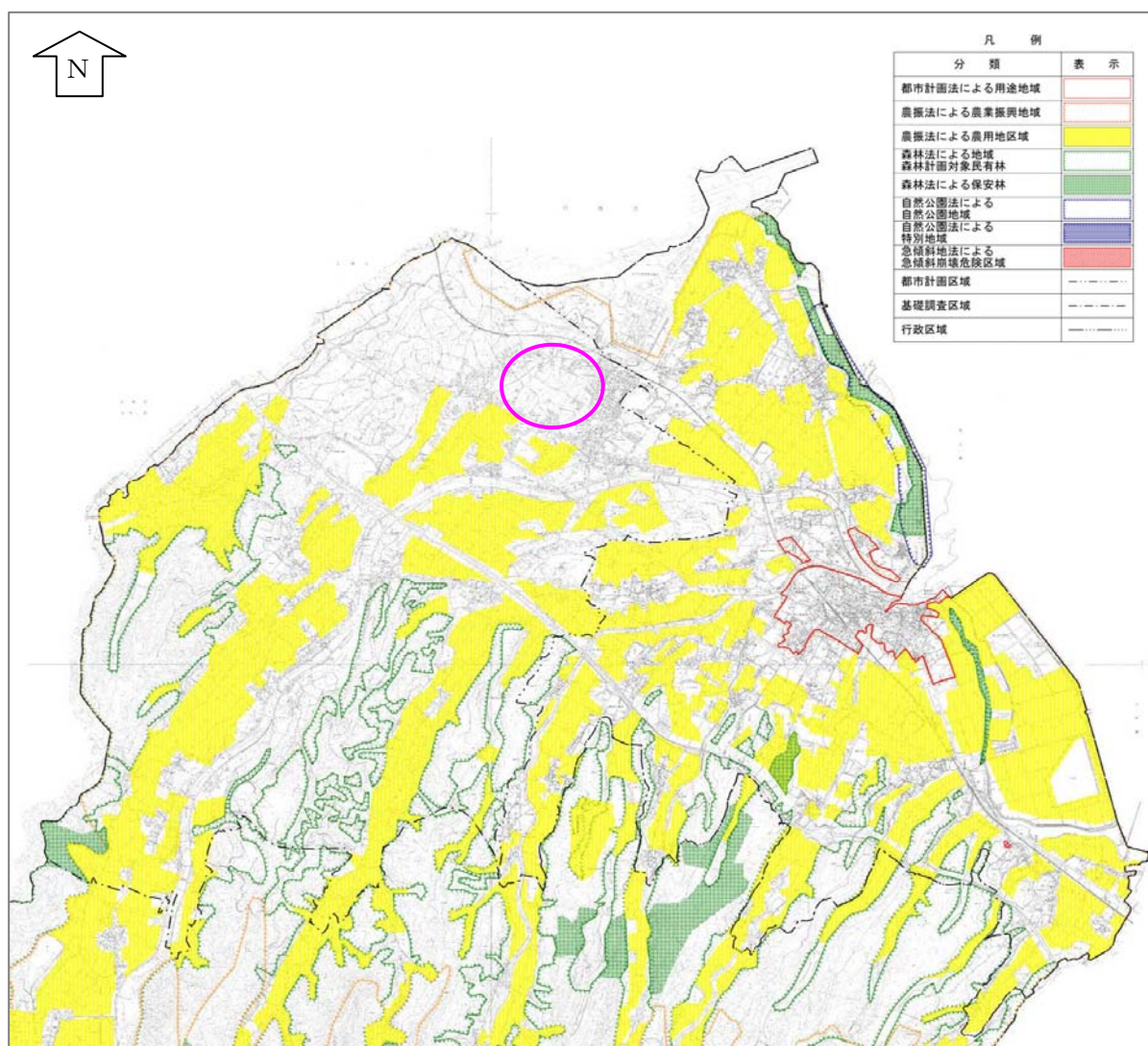


図 法適用現況図(都市計画基礎調査(H20))

4.2.2 都市計画区域等の状況

- 椎田地区に椎田都市計画区域が指定
- 築城市街地および椎田都市計画区域に隣接する農地部等に築上準都市計画区域が指定
- 椎田都市計画区域のＪＲ椎田駅周辺に用途地域が指定

(１) 都市計画区域等の指定状況

本町は椎田都市計画区域(1,872ha)の指定を受けており、用途地域 86.6ha、準防火地域 11.6ha を指定しています。また、築城市街地および都市計画区域に隣接する農地部等に築上準都市計画区域(2,554ha)が指定されています。

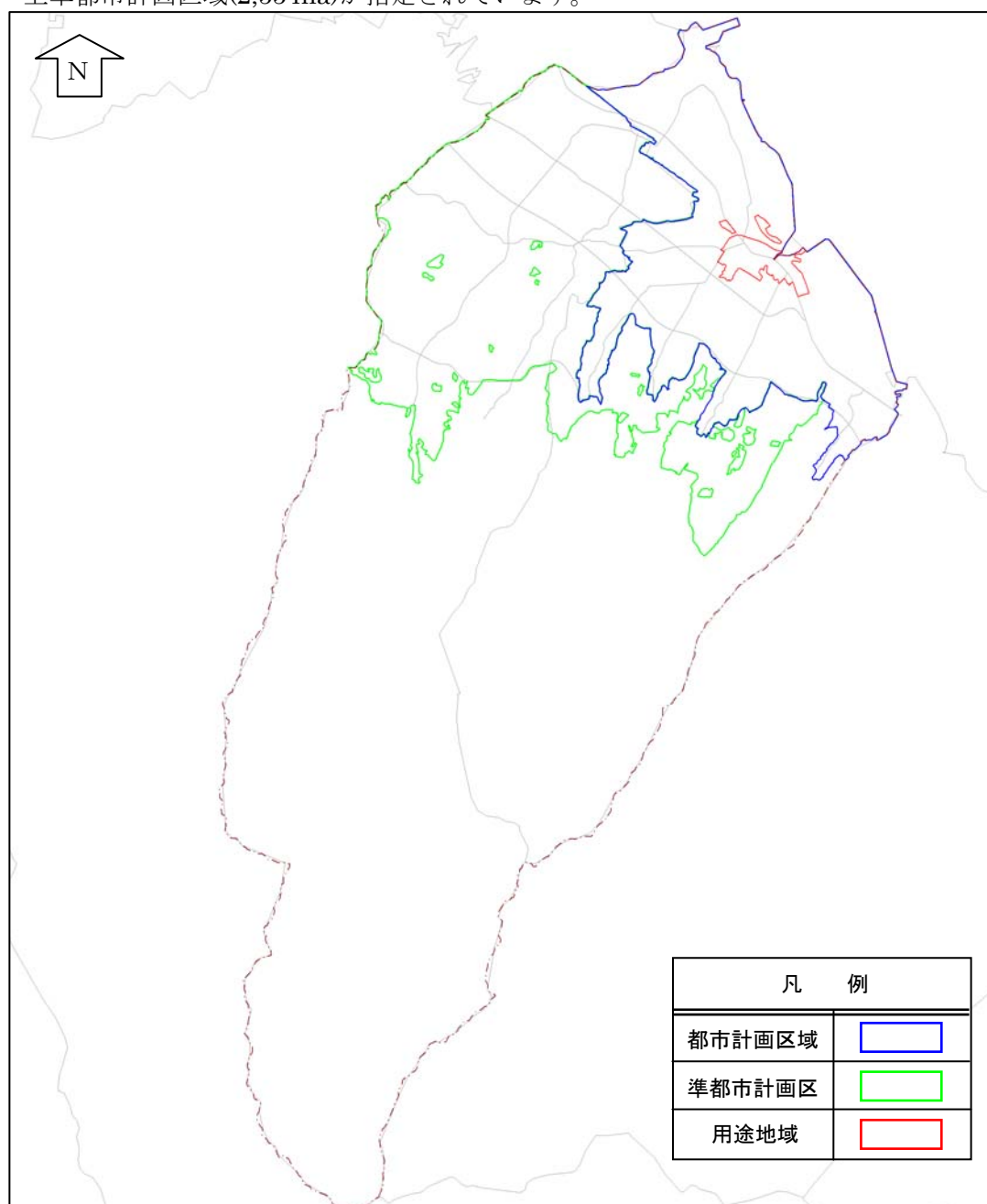


図 都市計画区域・準都市計画区域の指定状況

(参考) 都市計画区域と準都市計画区域の違いについて

都市計画区域は、一体の都市として総合的に整備、開発及び保全を図る必要のある区域に指定されます。一方、準都市計画区域は、都市計画区域外において、開発動向の見込まれる一定規模の区域について、主に環境の保全を主眼とした土地利用の整序を行う必要のある区域に指定されます。

都市計画区域に指定されている椎田地域と準都市計画区域に指定されている築城地域では、以下の表のような違いがあります。

築城地域においては、道路や公園等の整備を、効率的な手法の1つである都市計画決定により行うことができない状況です。また、住民主体のまちづくり手法の一つである「地区計画」も行えない状況です。

表 都市計画区域と準都市計画区域の制度の違い

区分	都市計画区域	準都市計画区域
地域地区	都市計画法第8条 1号～16号までの地域地区を定めることができる。	用途地域、特別用途地域、特定用途制限地域、高度地区、景観地区、風致地区、緑地保全地域、伝統的建物群保存地区を定めることができる。
都市施設	道路、公園、下水道等の都市施設を定めることができる。	定めない。 (都市計画区域外と同様、特に必要があるときは都市施設を定めることができるが、準都市計画区域の指定を理由に定めるものではない。)
市街地開発事業	土地区画整理事業、市街地再開発事業等の都市計画事業が実施できる。(用途地域等)	定めることができない。
地区計画	定めることができる。	定めることができない。
開発許可	・市街化区域 1,000 m ² 以上 ・市街化調整区域、非線引き都市計画区域 3,000 m ² 以上の開発行為に対して許可が必要。	3,000 m ² 以上の開発行為に対して許可が必要。

(2) 用途地域の指定状況

用途地域の構成は、JR 椎田駅前の商業地域、その周囲の近隣商業地域およびその他区域の第一種住居地域であり、商業地域および近隣商業地域は準防火地域が併用指定されています。

表 用途地域等の指定状況

用途地域名	建ぺい率／容積率	併用指定	面積
第一種住居地域	60／200		約 75.0ha
近隣商業地域	80／200	準防火地域	約 9.2ha
商業地域	80／300	準防火地域	約 2.4ha
小計			約 86.6ha
用途地域の指定のない地域	60／200		約 1,785.4ha
合 計			約 1,872.0ha

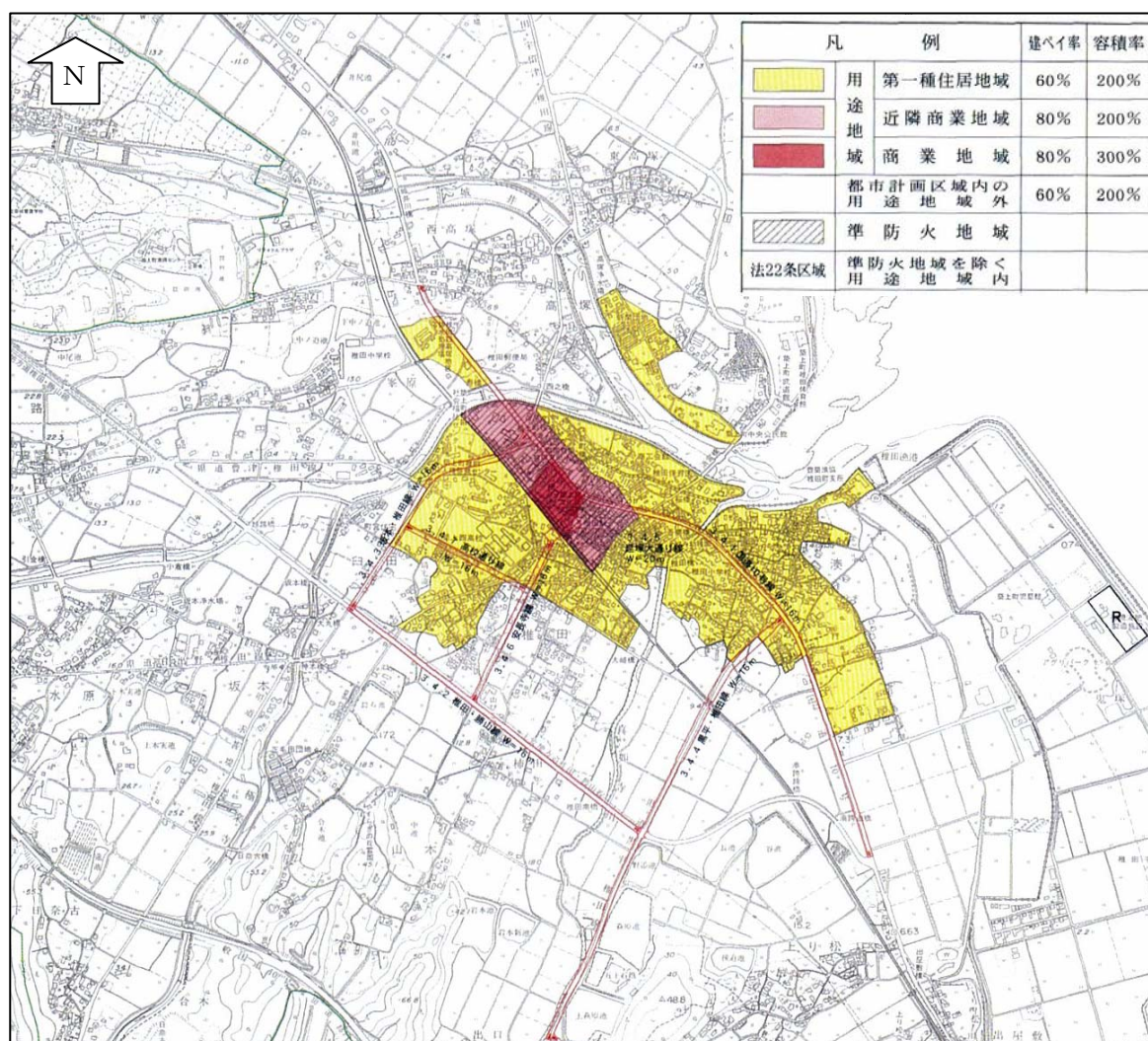


図 用途地域指定状況

4.3 開発動向

4.3.1 新築動向

- 新築着工の約7割は「住宅」であり、近年は減少傾向
- 用途地域外縁部、および築城地域の周辺部での新築が顕著

新築状況をみると、平成14年から19年までの6年間で448件行われており、その7割は「住宅」になっています。

近年の動向をみると減少傾向にあり、特に住宅着工件数の減少が顕著です。

また、新築状況の分布をみると、用途地域内だけでなく、用途地域外縁部の高塚、越路地区、築城地域の築城、上別府地区、および沿岸部の西八田地区において多くなっています。

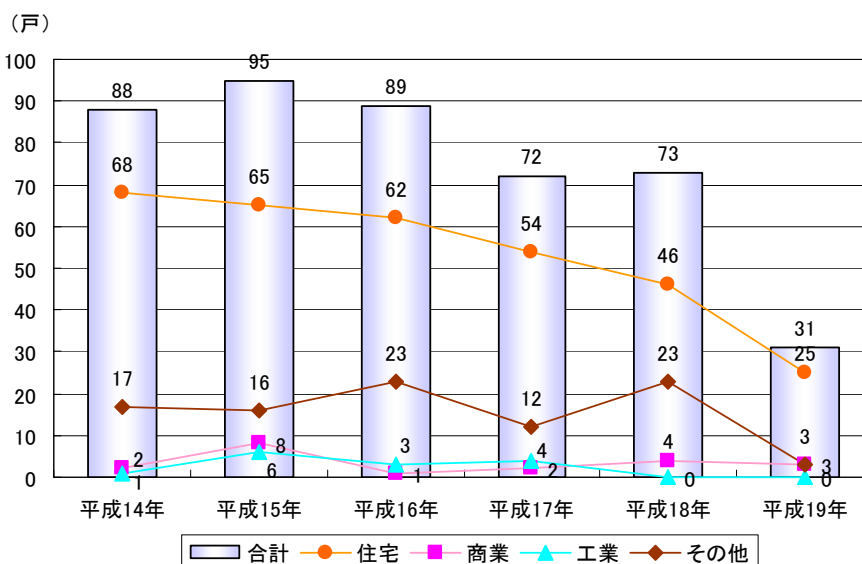


図 建築物の新築件数の推移

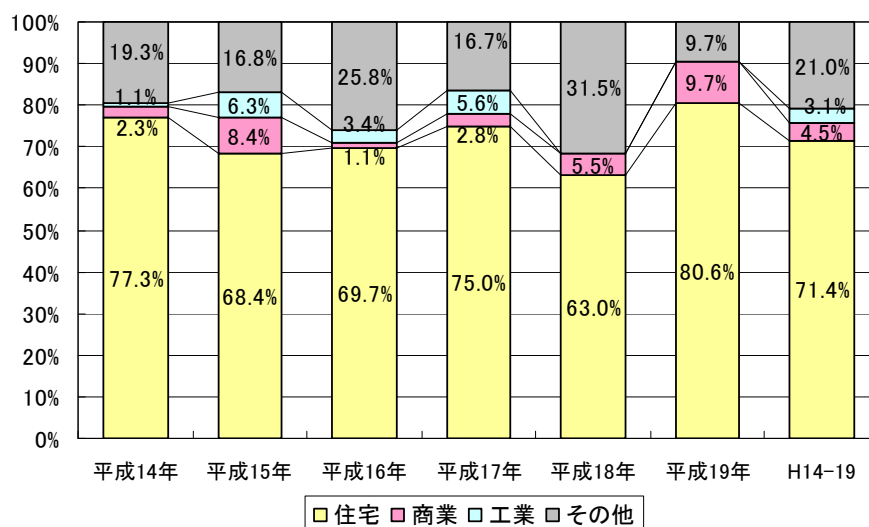


図 建築物の用途別新築件数の割合

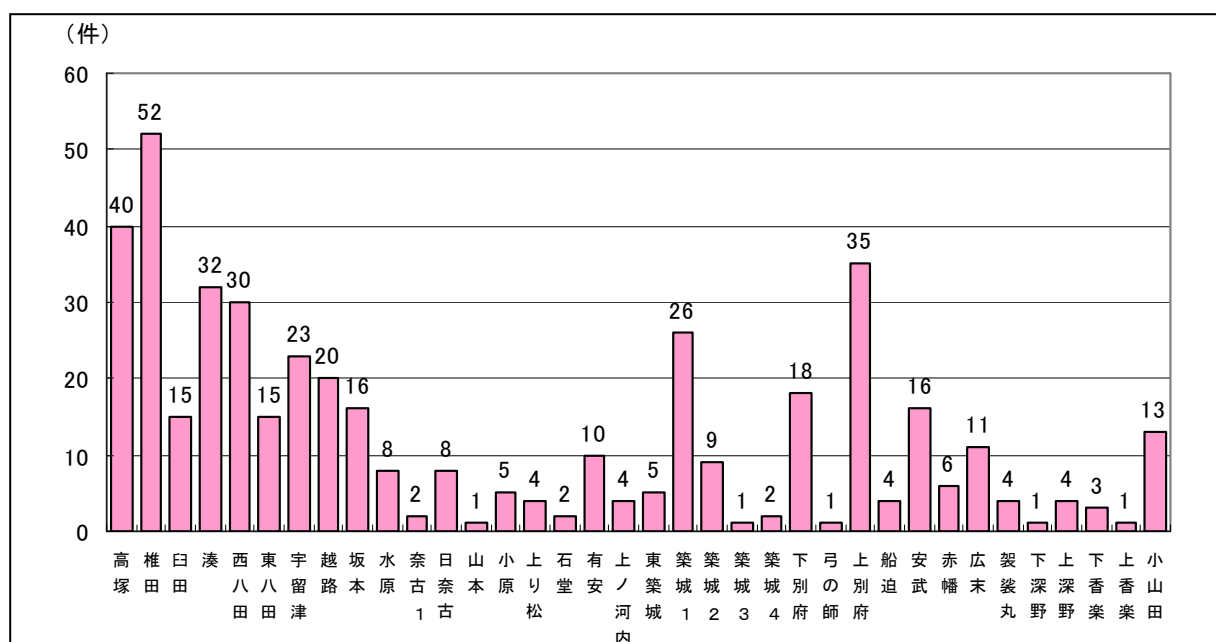


図 地区別建築着工件数(H14-19年)

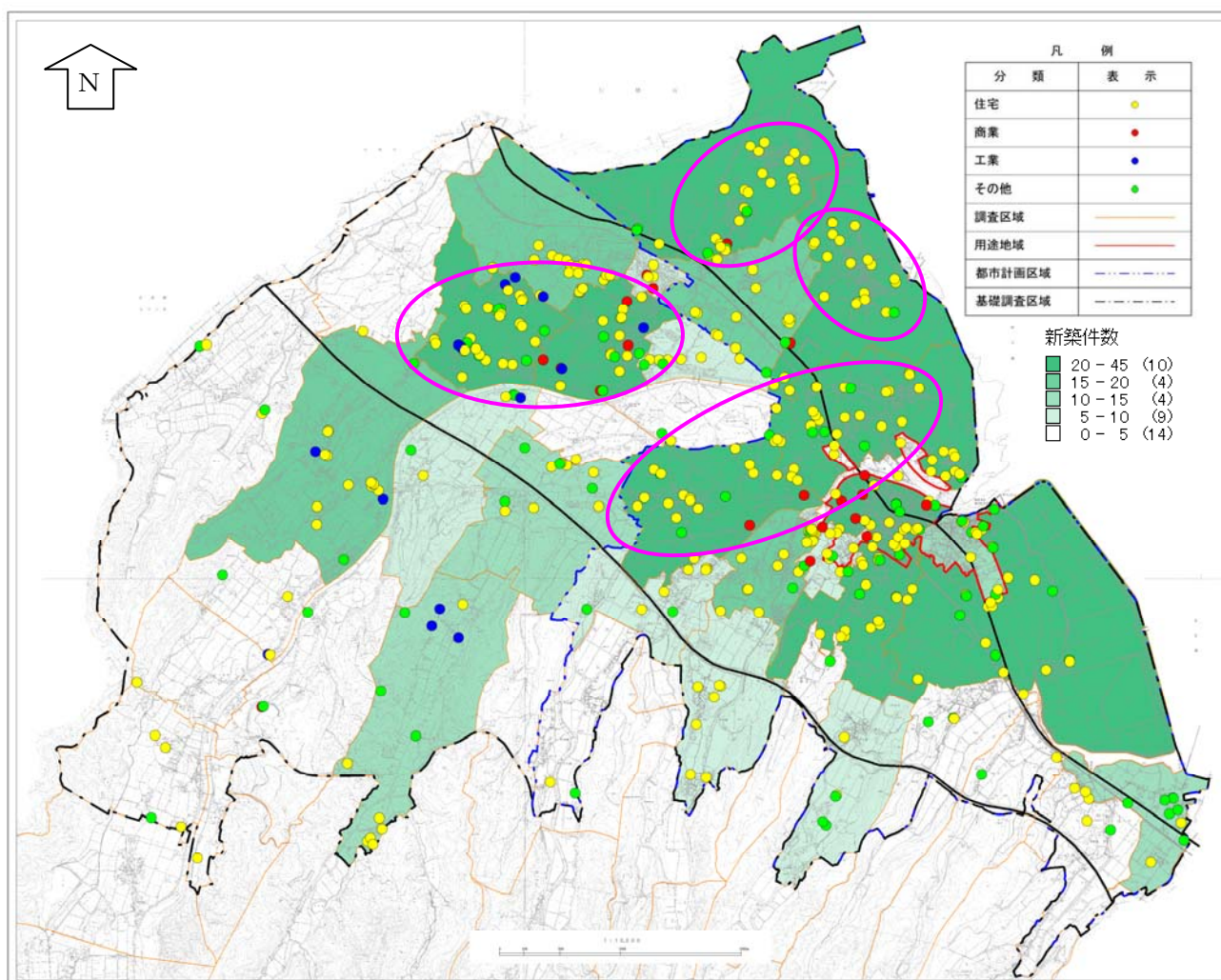


図 建築物の新築状況分布図

資料: 建築確認申請資料

4.3.2 農地転用状況

- 農地転用の半数が住宅用地
- 国道10号沿道およびその南側での農地転用が多い

農地転用の状況を見ると、平成14年から平成19年までの6年間で207件行われており、26～46件/年の割合で推移しています。

また、転用用途別に見ると、その半数は「住宅用地」への転用となっており、次いで「その他」（駐車場、資材置場等）となっています。

分布状況を見ると、国道10号沿道の高塚地区、下別府地区や、築城地区における農地転用が多くなっています。

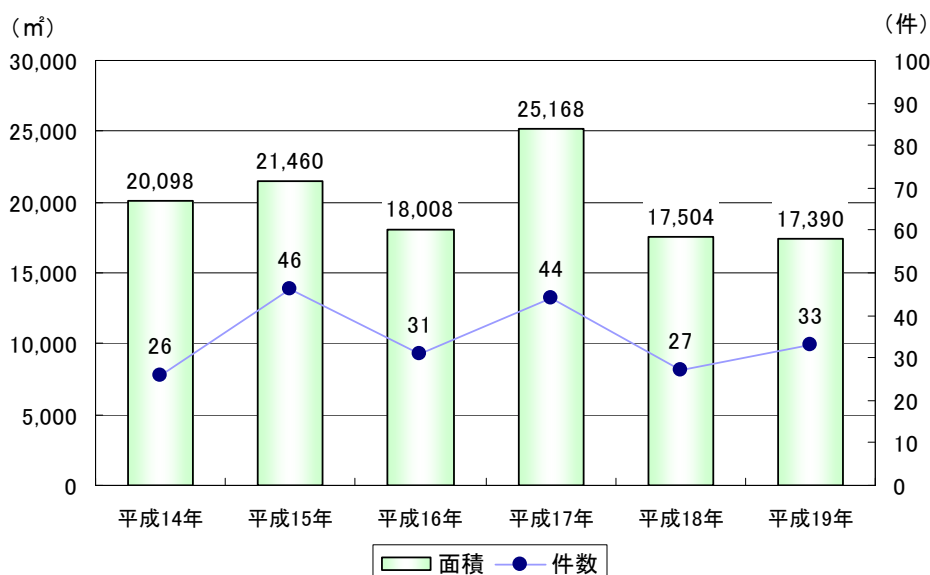


図 農地転用面積と件数

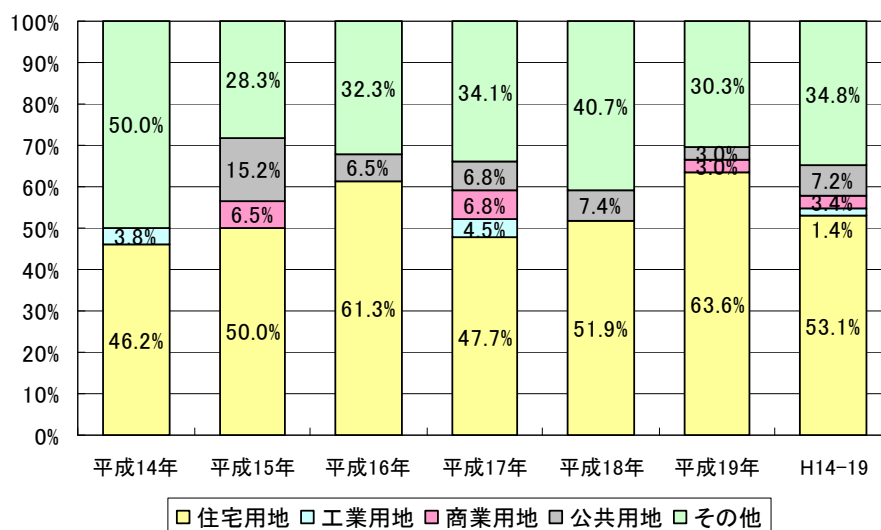


図 農地転用の内訳

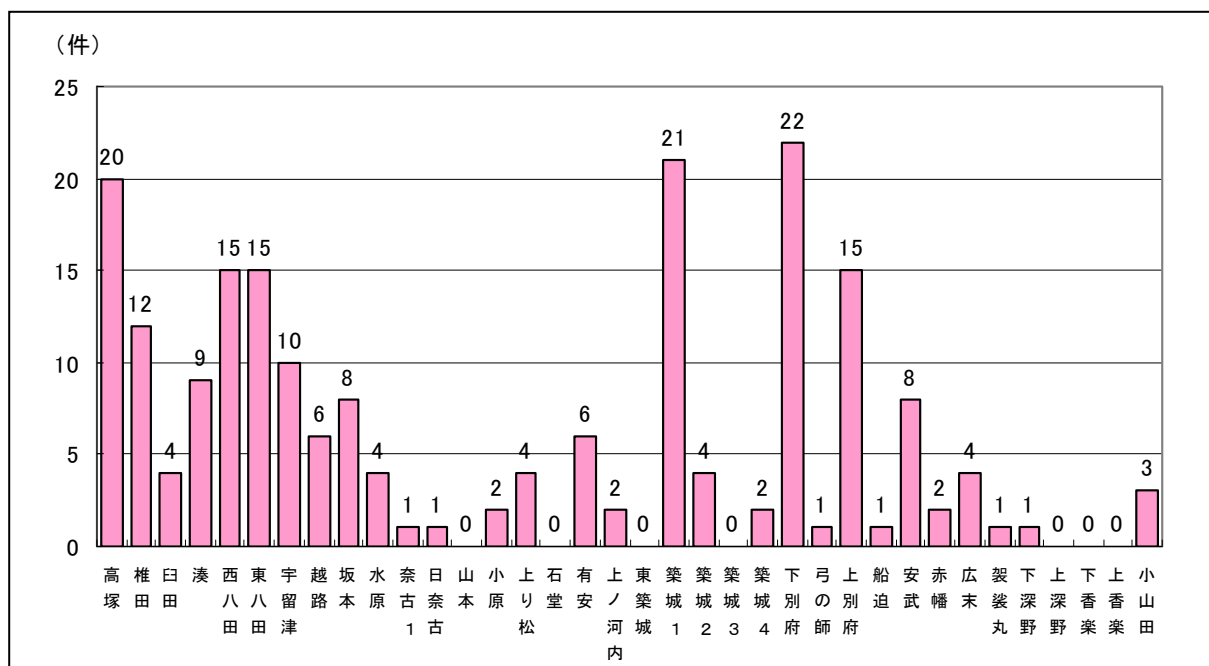


図 地区別農地転用件数

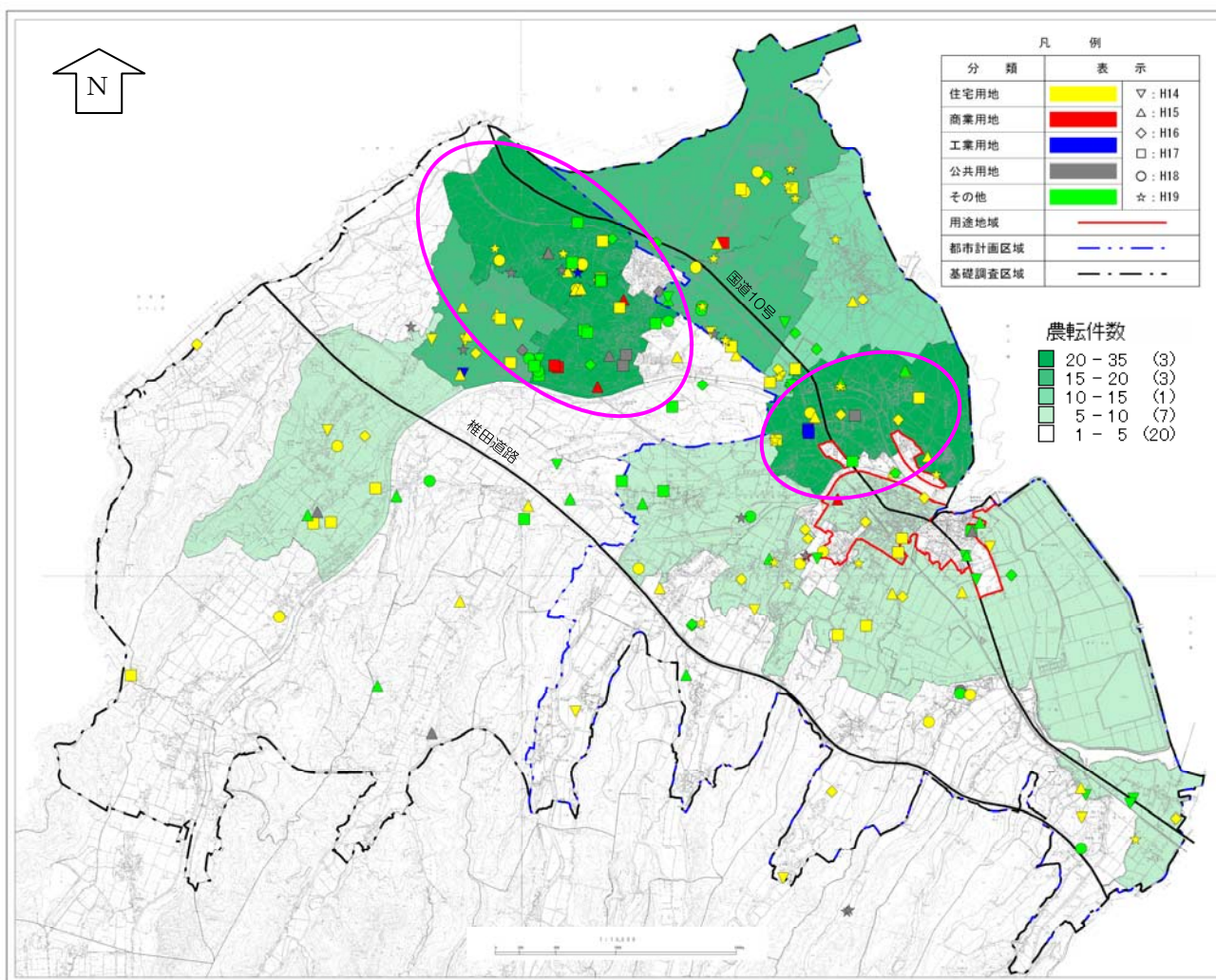


図 農地転用分布図

資料: 農地法第4・5条に基づく申請書

4.3.3 開発行為

- 過去 10 年間の開発行為は 4 件
- 商業用途の開発は、主要幹線道路沿道で実施

過去 10 年間の開発行為は、住宅用途 2 件、商業用途 2 件の計 4 件であり、商業用途の開発は、主要幹線道路である国道 10 号および主要地方道椎田勝山線沿道で実施されています。また開発区域は、用途白地地域 3 件および都市計画区域外 1 件です。

表 宅地開発の状況(過去 10 年)

	年	位置	面積	開発用途	区域
1	H9	大字東八田 913-1 外	5,289 m ²	住宅用途	用途白地地域
2	H15	大字築城 290-1,大字東築城 1001-1	20,773 m ²	住宅用途	都市計画区域外
3	H9	大字東八田 136-1	16,306 m ²	商業用途	用途白地地域
4	H20	大字臼田 487-1 外	4,335 m ²	商業用地	用途白地地域

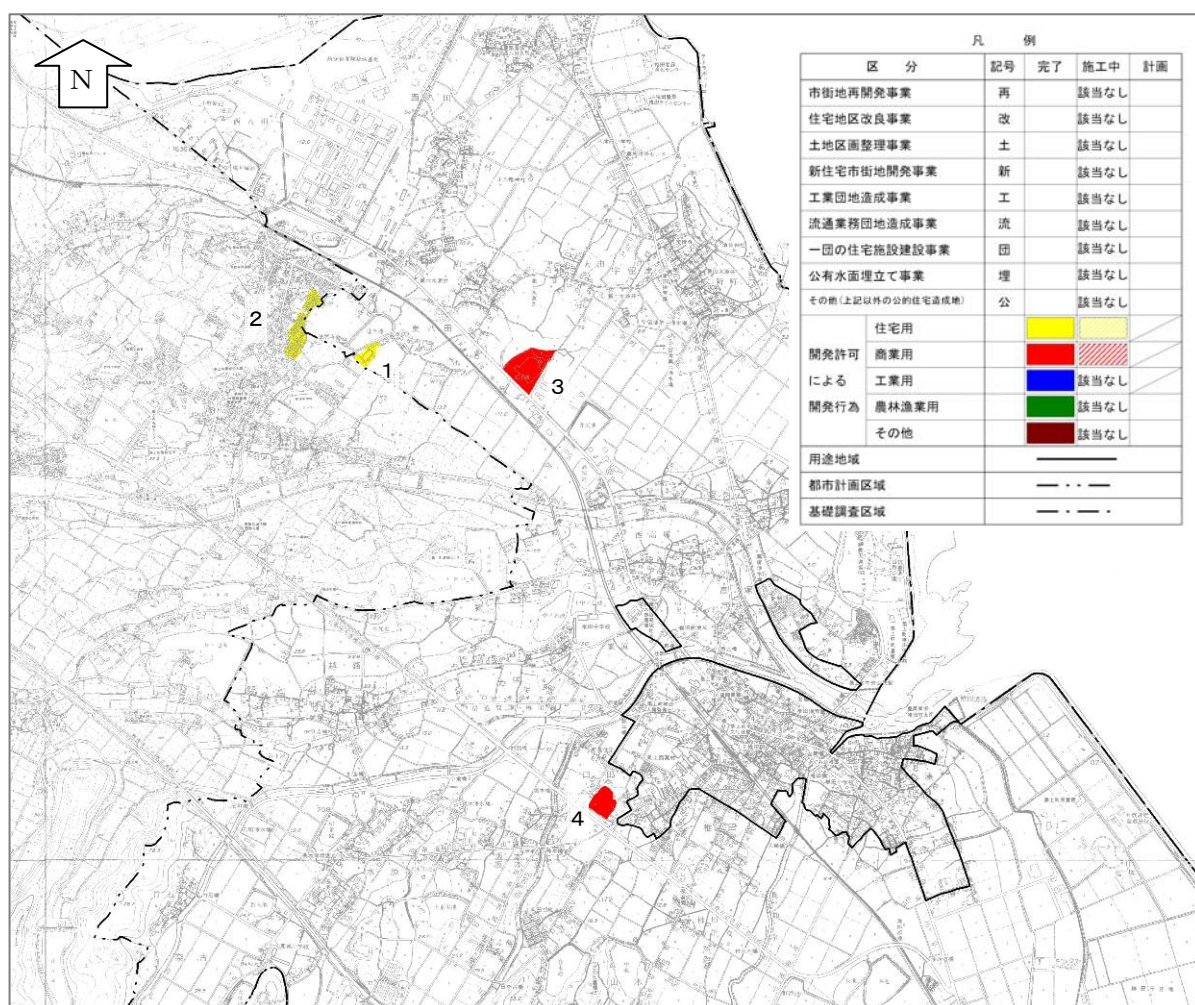


図 宅地開発位置図

資料：開発許可申請台帳

5. 都市施設

5.1 主要道路・交通網状況

5.1.1 道路

- 国道10号、椎田道路により周辺都市と連絡
- 脆弱な幹線道路網

(1) 道路網の状況

本町の北部を東西に国道10号及び椎田道路が貫き、北九州市、大分市等の地方中核都市と連絡しています。これらと交差して南北に県道黒平椎田線、県道日出野椎田線、県道求菩提椎田線、県道小山田東八田線、県道寒田下別府線、県道上河内有安線が整備され、本町南部の山林部と北部の市街地を結んでいます。また、農道や林道が山林部で東西を結んでいます。

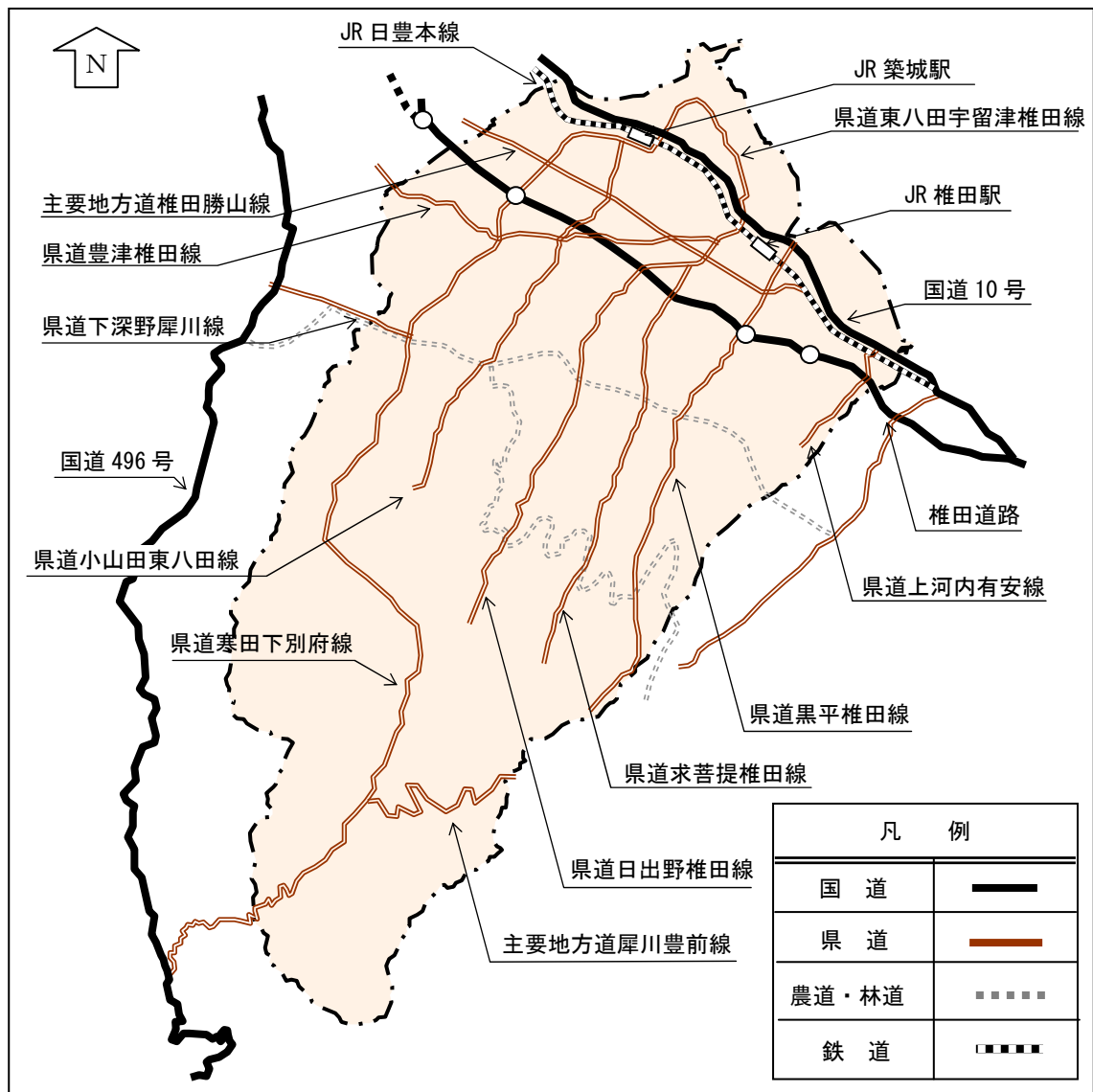


図 道路網図

(2) 幅員別道路網の状況

12m以上の幅員を持つ幹線道路は、国道10号、主要地方道椎田勝山線、および椎田道路など、東西方向の道路のみとなっています。椎田IC、築城ICと市街地を結ぶ県道など、幹線道路網が脆弱な状況です。

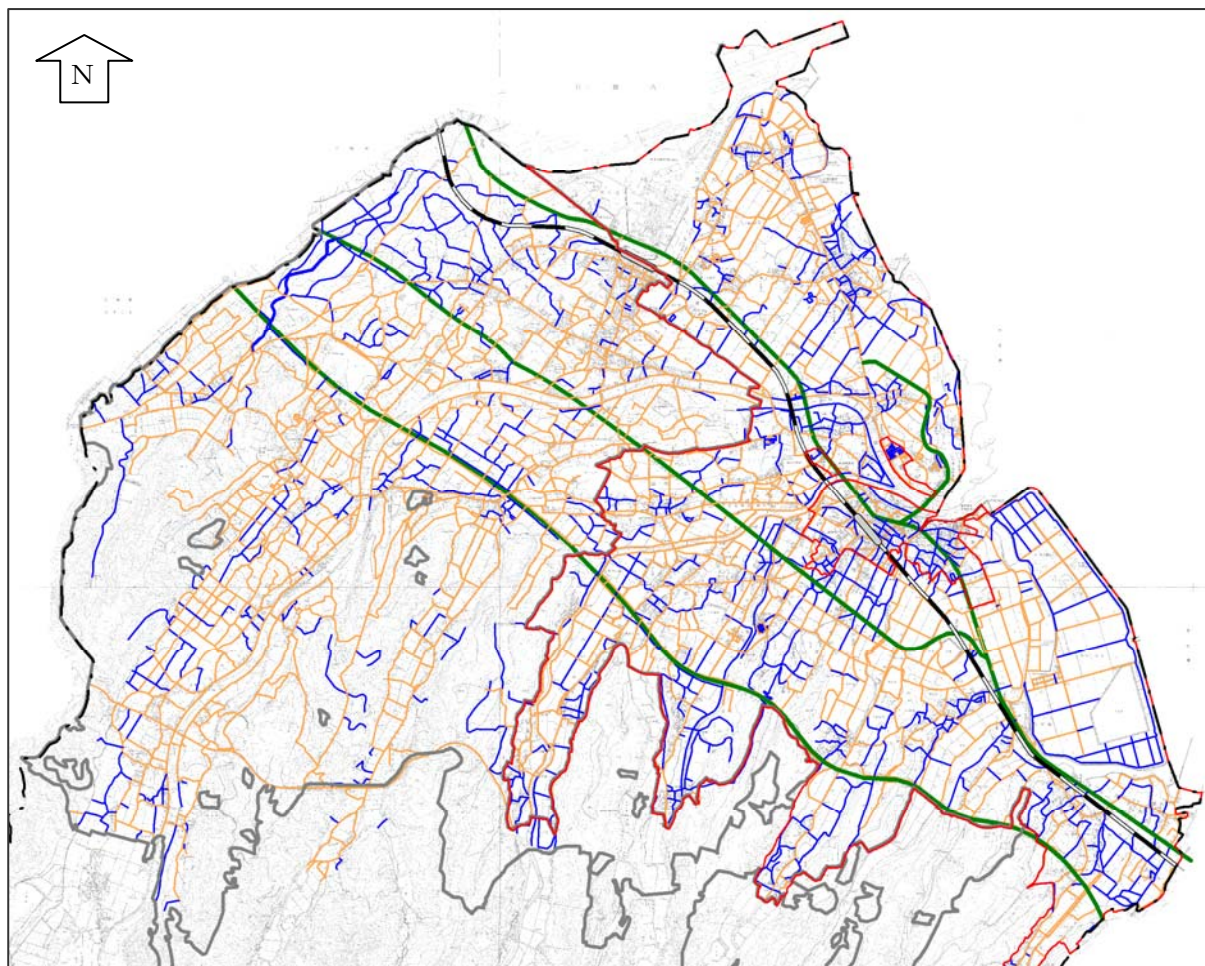


図 幅員別道路網状況図（都市計画基礎調査（H20））

凡 例

分 類	表 示
幅員12m以上	—
4m以上12m未満	—
4m未満	—
用途地域	—
都市計画区域	—
準都市計画区域	—
行政区域	- - - - -

5.1.2 鉄道・バス

●鉄道乗降客は減少傾向

本町には、JR 日豊本線が通り、JR 椎田駅、JR 築城駅の2駅があります。乗降客は経年的に減少しています。

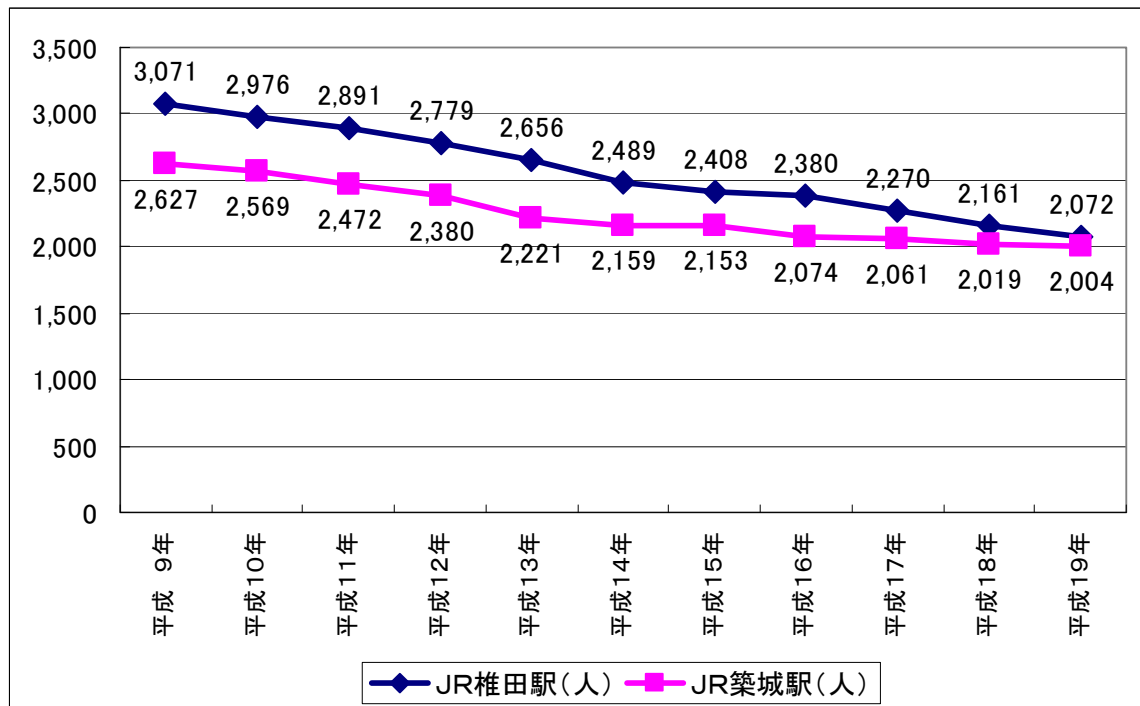


図 JR 椎田駅とJR 築城駅の1日駅乗降客数(JR 九州)

また、町内には、6系統のコミュニティバス路線および1系統の民間路線があり、町内の公共交通ネットワークおよび行橋(ゆめタウン行橋)へのアクセスが確保されています。

コミュニティバスの利用者数は増加傾向にあります。

5.2 都市施設の整備状況

5.2.1 都市計画道路

- JR 椎田駅を中心として都市計画道路および駅前広場が都市計画決定されている
- 未整備(未着手)部分が多い

本町の都市計画道路は、9路線、駅前広場2箇所が決定されており、J R椎田駅と都市計画区域内をネットワークする道路配置になっています。

なお、駅前広場のほか、6路線が未着手であり、決定総延長の56%が未着手の状況です。

表 都市計画道路の整備状況(庁内資料)

都市施設の名称	都市計画決定事項			事業期間	整備状況状況
	延長 (m)	幅員 (m)	面積 (ha)		
1・3・1 椎田・太平線	2,350	24	-	平成18年 ～28年	整備中
3・4・1 国道10号線	2,390	16	-	-	未着手
3・4・2 椎田・勝山線	1,140	16	-	-	概成済(W=14.5m)
3・4・3 坂本・椎田線	800	16	-	-	一部概成済(L=460m,W=14.5m) 残り340mは休止中
3・4・4 黒平・椎田線	1,540	16	-	-	未着手
3・4・5 延塚大通り線	60	20	-	-	未着手
3・4・6 安長寺線	550	16	-	-	未着手
3・4・7 高校通り線	420	16	-	-	未着手
3・4・8 上ノ河内線	400	20	-	-	未着手
椎田駅北口駅前広場	-	-	0.20	-	未着手
椎田駅南口駅前広場	-	-	0.13	-	未着手

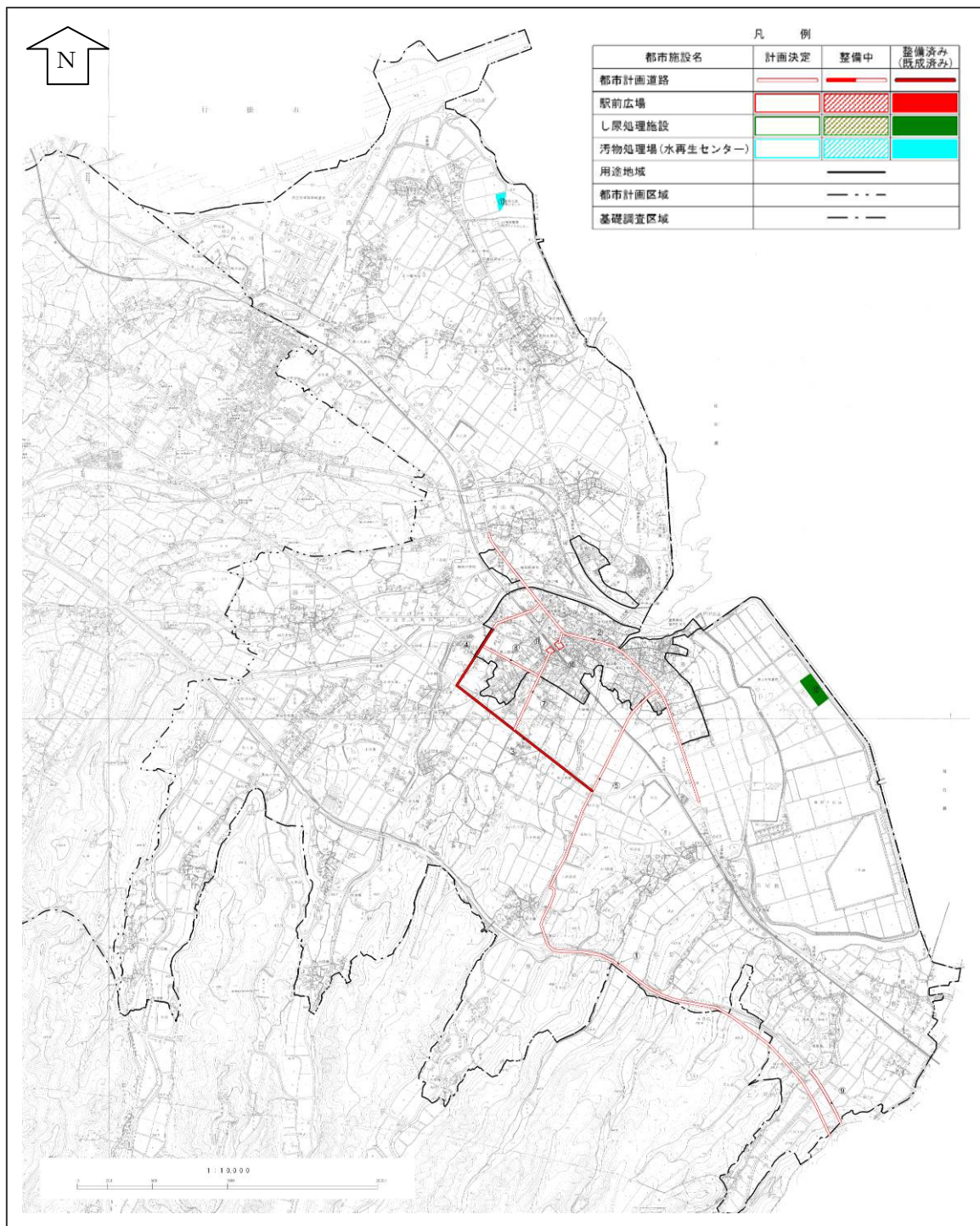


図 都市計画道路(都市施設)の状況(都市計画基礎調査(H20))

5.2.2 公園緑地

- 緑地面積は、都市計画区域 182.9ha、都市計画区域外 564.6ha
- うち自然公園は 12ha
- 築城駅周辺において、公園が不足

(1) 公園・緑地の状況

本町には都市計画決定された公園はありませんが、市街地部を中心に公園・緑地(公共施設緑地)が、6.9ha 整備されています。

また、南部の山林部を中心に法による地域制緑地に指定されています。

表 緑地面積(都市計画基礎調査 H20)

			面積(ha)			
			用途指定区域	用途指定区域外	都市計画区域	都市計画区域外
施設緑地	都市公園					
	都市公園以外	公共施設緑地	0.3	4.8	5.1	1.8
		民間施設緑地				
	施設緑地計		0.3	4.8	5.1	1.8
地域制緑地	法によるもの	緑地保全地区				
		風致地区				
		歴史的風土特別保存地区				
		生産緑地地区				
		自然公園		12.0	12.0	
		自然環境保全地区				
		農業振興地域・農用地区域		177.8	177.8	562.8
		河川区域				
		保安林区域		16.4	16.4	13.5
		地域森林計画対象民有林		110.5	110.5	341.7
		保存樹・保存樹林				
		名勝・天然記念物・史跡等緑地として扱える文化財等				
		法によるもの計		316.7	316.7	918.0
	協定によるもの	緑化協定				
	条例等によるもの					
小計				316.7	316.7	918.0
地域制緑地間の重複				138.9	138.9	355.2
地域制緑地計				177.8	177.8	562.8
施設・地域制緑地間の重複						
緑地合計			0.3	182.6	182.9	564.6

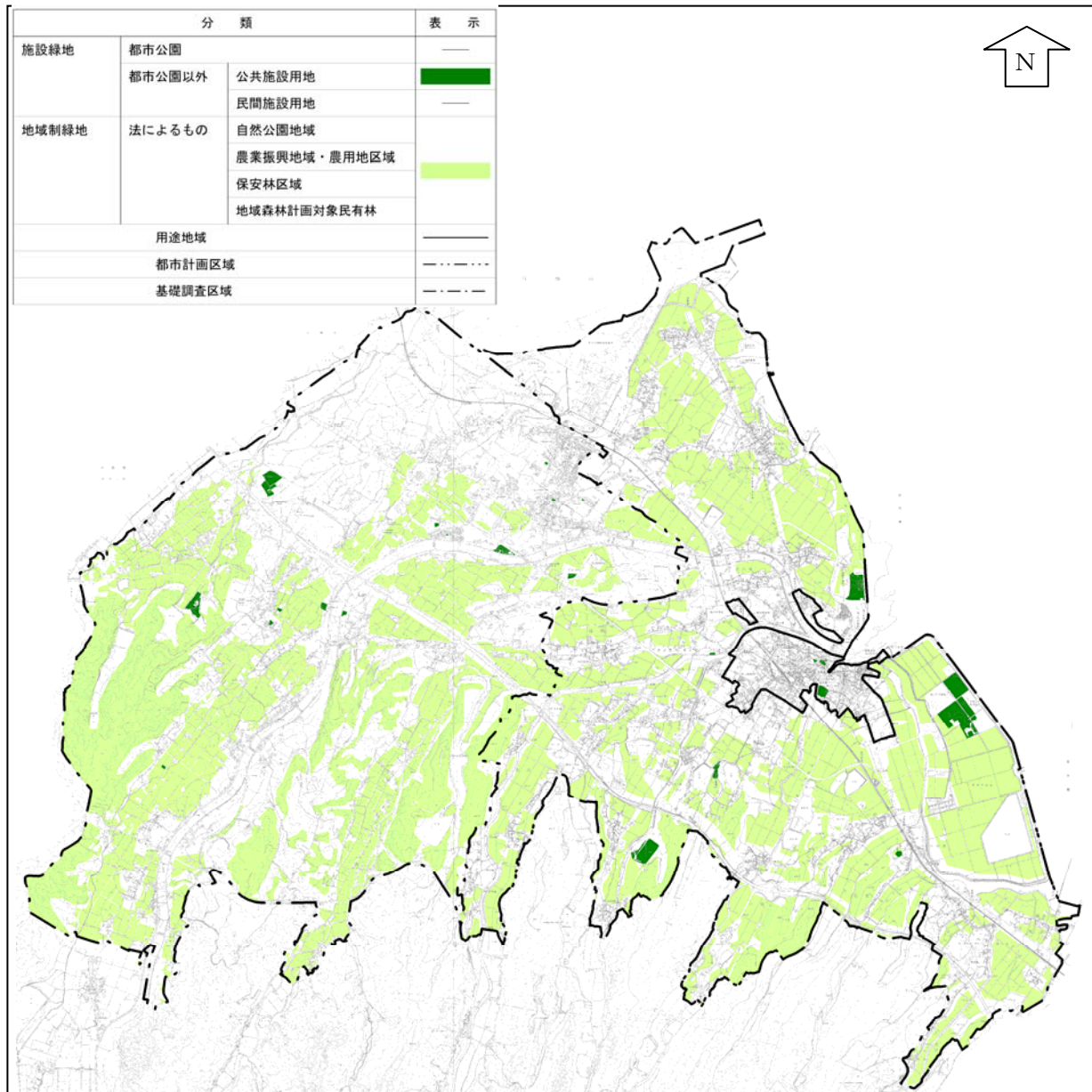


図 公園・緑地の状況(都市計画基礎調査(H20))

(2) 児童遊園等の分布状況

本市で管理されている児童遊園等の身近な公園の分布状況を見ると、椎田地域中心部と比べて築城地域中心部での公園の分布が少ない状況となっています。

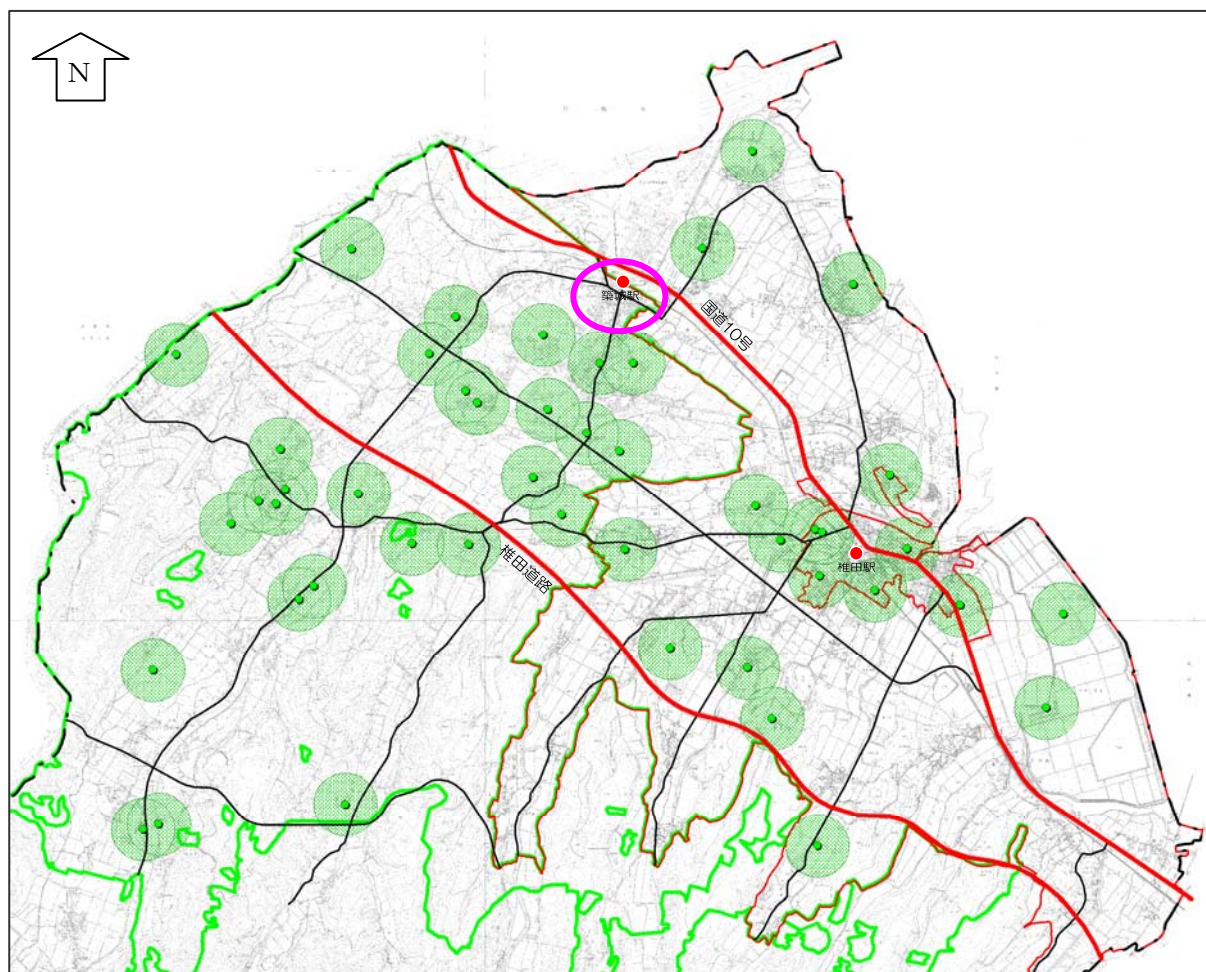


図 児童遊園等分布図（円は誘致距離半径 250m）

5.2.3 下水道

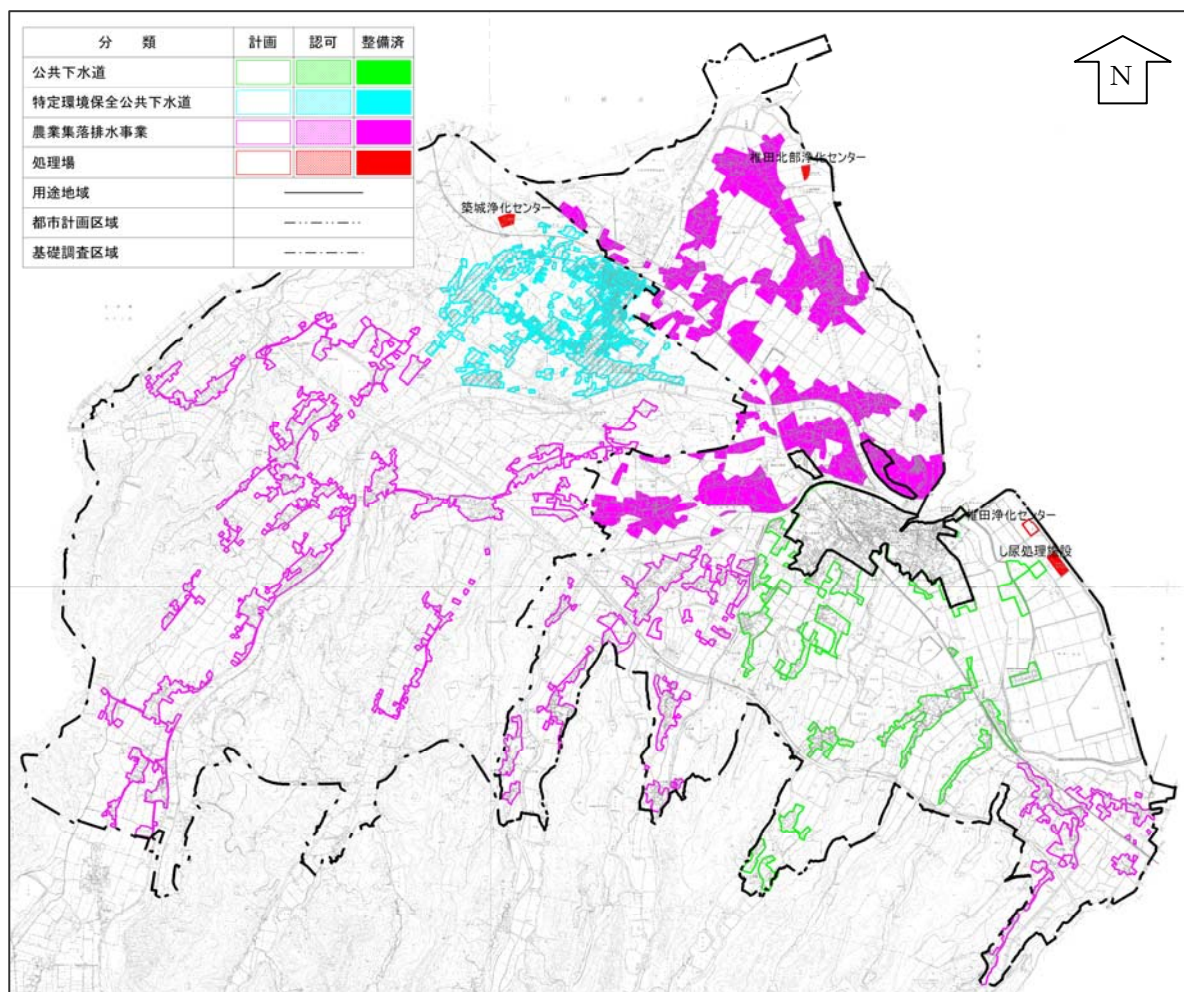
●特定環境保全公共下水道、農業集落排水の整備が進められており、普及率は約 39%

本町の下水道事業等は、特定環境保全公共下水道、農業集落排水で整備が進められており、進捗率は約 39%です。北部の集落地では農業集落排水の整備が比較的進んでいますが、都市計画区域内の公共下水道事業の進捗が遅れている状況にあります。

表 下水道整備状況

(単位: 人、ha、%)

下水道種別	処理 区名	行政人口	計画処理 人口	計画整備 面積	水洗化 人口	普及率	水洗化率
特定環境保全 公共下水道	築城	21361.0	3,900	93	311	18.3	8.0
農業集落排水	西高塚		1,250	50	626	5.9	50.1
	椎田北部		3,210	124	1014	15.1	31.6
合 計			8,360	267	1014	39.3	23.3



6. その他

6.1 生活利便施設の状況

●旧町単位で施設が充足している

本町の公共公益施設は、小学校 8 校、中学校 2 校、高等学校 2 校のほか、保健福祉関係 7 カ所、環境衛生関係 5 カ所、公共保育園 3 園、教育・文化施設 16 カ所、体育施設 21 カ所、公民館 5 カ所、観光施設 7 カ所の施設があります。

合併前の旧町単位で施設が確保されている状況にあります。

表 公共公益施設一覧(築上町町勢概要)

	施設名称		施設名称
庁舎	築上町役場	体育施設	築上町椎田体育館
	築上町築城支所		築上町築城体育館
保健福祉関係	築上町椎田社会福祉センター「自愛の家」		築上町
	築上町築城社会福祉センター		築城海洋センター体育館
	築上町保健センター		築上町武道館
	「チアフルつき」		築上町弓道場
	築上町児童館		サン・スポーツランド浜の宮グラウンド
	老人いこいの家「やまと」		築上町椎田グラウンド
	築上町椎田人権啓発センター		築上町築城グラウンド
環境衛生関係	築上町築城同和研修センター		築上町日奈古グラウンド
	築上町有機液肥製造施設		築上町相撲場
	築上町ごみ固形燃料化施設「ウィズ・アース」		築上町
	築上町リサイクルプラザ		椎田海洋センタープール
公立保育園	やすらぎの丘霊園		築上町
	清浄苑(火葬場)		築城海洋センタープール
			サン・スポーツランド浜の宮テニスコート
小学校	築上町立椎田保育園		築城テニスコート
	築上町立葛城保育園	公民館	サン・スポーツランド浜の宮ゲートボール場
	築上町立築城保育園		築城ゲートボール場
	築上町立椎田小学校		スパーク築城
	築上町立八津田小学校		築上町パークゴルフ場
	築上町立葛城小学校		築上町中央公民館
	築上町立小原小学校		築上町築城公民館
	築上町立西角田小学校	観光施設	築上町椎田学習等供用施設
中学校	築上町立築城小学校		下城井公民館
	築上町立下城井小学校		上城井公民館
高等学校	築上町立上城井小学校		築上町龍城院キャンプ場
	福岡県立		築上町牧の原キャンプ場
教育・文化施設	築上町立西高等学校		まごちの里(寒田生産物直売所)
	築上町立図書館		メタセの社
	築上町立築城図書館		(築上町物産館)
	築上町文化会館「コマーレ」		ふれあい工房
	築上町立農業公園		(築上町農産物加工センター)
	「しいだアグリパーク」		森林とのふれあい施設
	築上町国見の森自然公園		「ビラ・パラディ」
	椎田駅前森林公園		高齢者・若者活性化センター
	椎田駅前コミュニティパーク		「愛椎の館」
	築上町弓の師近隣公園		
	「メタセの社」		
	ふるさと公園		
	船迫窯跡公園		
	鹿の戸公園		
	東築城ポケットパーク		
	築上町歴史民俗資料館		
	山村自然学校		
	築上町岩丸生涯学習センター		

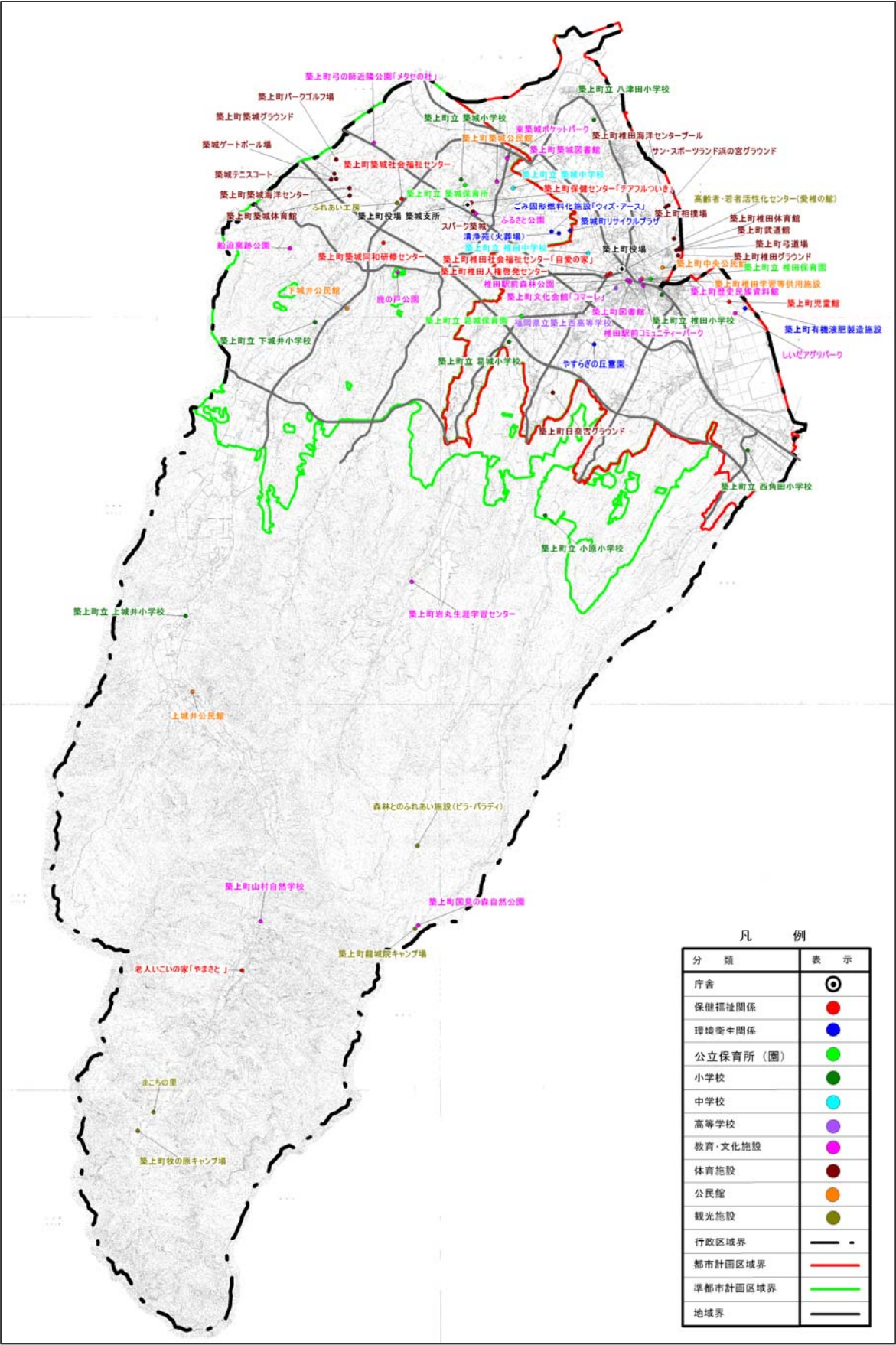


図 公共施設一覧（築上町町勢概要）

6.2 観光・交流資源の状況

- 文化財は、国指定3箇所、県指定9箇所、町指定29箇所
- 国道や県道などの主要道路周辺に密集

本町の観光・交流施設は、主として市街地に立地する文化・コミュニティ関連施設のほか、南部の山林部のキャンプ場および森林とのふれあい施設があります。また、浜の宮海岸や歴史資源など、自然・歴史的資源も豊富です。

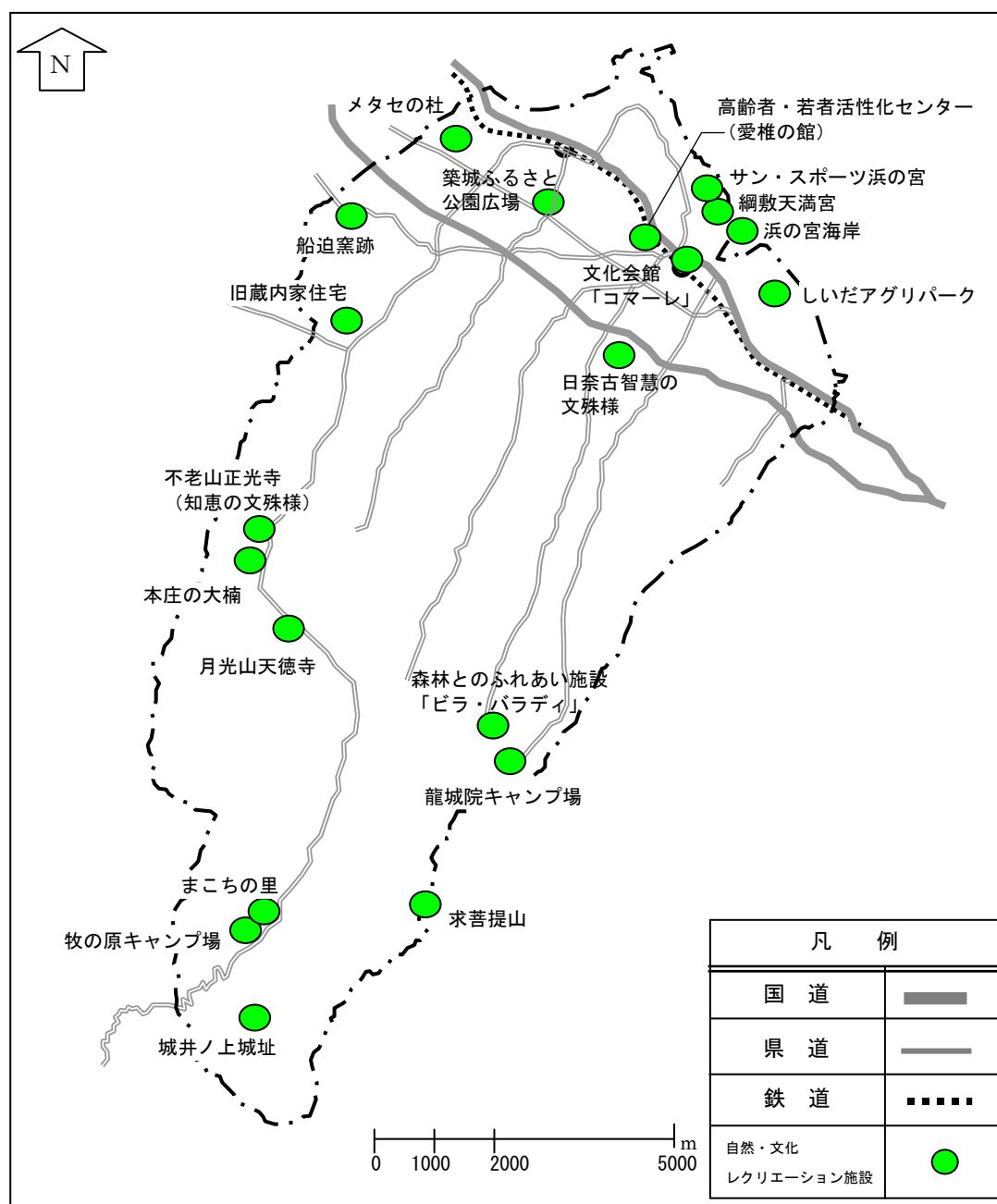


図 自然環境・レクリエーション施設(新町建設計画)

本町の文化財は、国指定3箇所、県指定9箇所、町指定29箇所あります。それ以外にも未指定ではあるが、史跡や社寺が国道や県道付近に点在しています。

本町の歴史性を反映して、歴史的文化財が多くなっており、特に無形民俗文化財に指定されている各地区の神楽が本町の特徴的な歴史資産になっています。

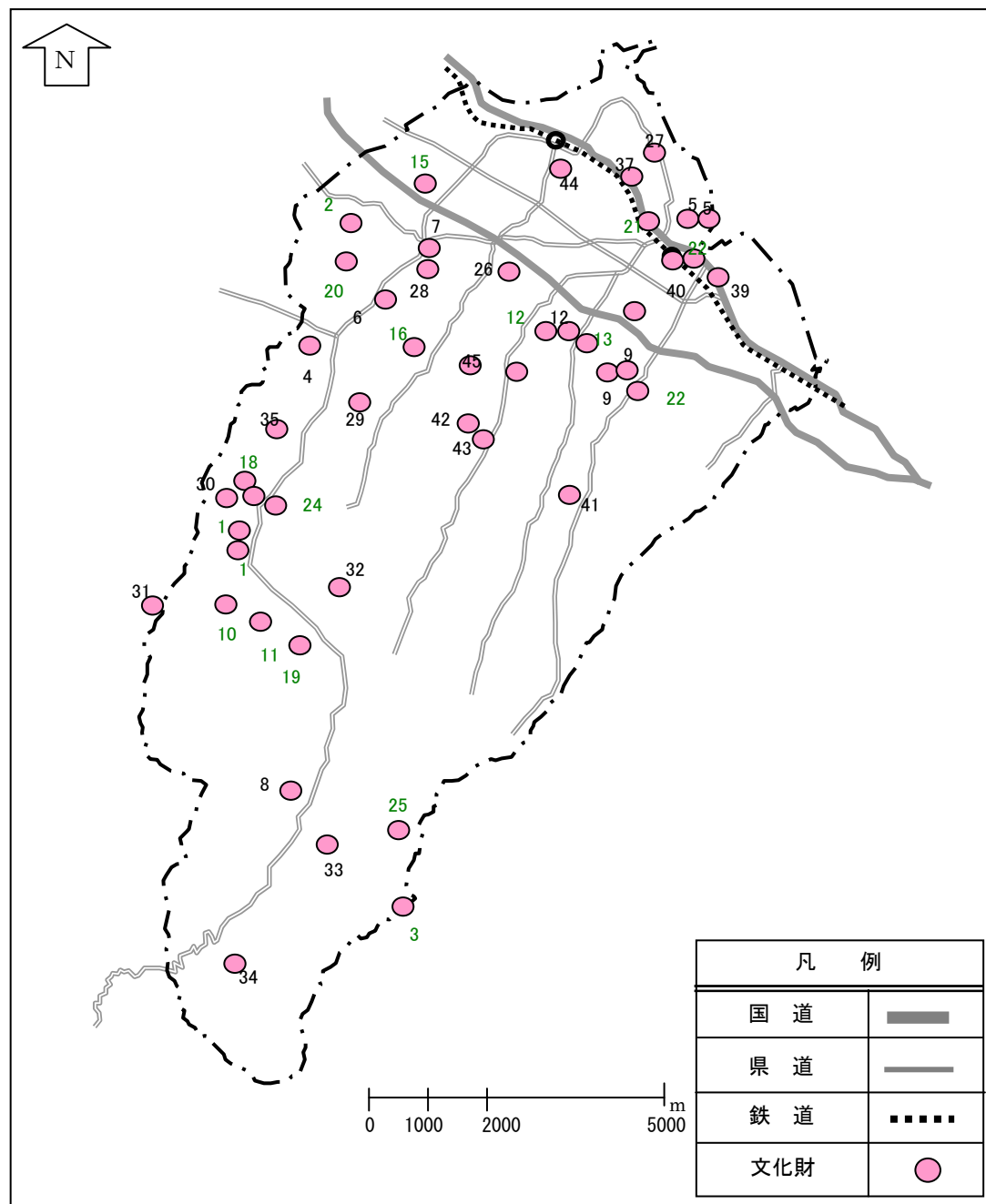


図 文化財一覧(築上町町勢要覧)

表 文化財一覧(築上町勢要覧)

番号	指定名称	種 目
1	本庄の大楠	国指定 天然記念物
2	船迫窯跡	国指定 史跡
3	求菩堤山	国指定 史跡
4	旧蔵内家住宅	県指定 有形文化財
	小倉縣塔印	県指定 有形文化財
5	紙本着色怒天神像	県指定 有形文化財
5	西山宗因筆連歌懷紙	県指定 有形文化財
5	小笠原家奉納和歌集及び連歌懷紙	県指定 有形文化財
6	円座餅搗き行事	県指定 無形民俗文化財
7	赤幡神楽	県指定 無形民俗文化財
8	寒田神楽	県指定 無形民俗文化財
9	小原不動堂の大ソテツ	県指定 天然記念物
10	本庄の雪穴	町指定 建造物
11	三足墓香炉	町指定 工芸品
12	日奈古瑞光寺の無縫塔	町指定 工芸品
13	下日奈古公民館の無縫塔	町指定 工芸品
14	木造文殊菩薩騎獅像	町指定 彫刻
15	双子池記念碑	町指定 歴史資料
1	大楠宮小楠宮社記	町指定 歴史資料
16	宇都宮鎮房奉納額	町指定 歴史資料
17	城井谷絵図	町指定 歴史資料
	香春藩論文高札	町指定 歴史資料
	城井軍記実録	町指定 書跡
17	築城軍幸延塚卯右衛門 天保七年十二月二日の書置	町指定 書跡

番号	指定名称	種 目
1	仙始之儀絵図	町指定 有形民俗文化財
17	女鹿谷観音堂略図	町指定 有形民俗文化財
	宇佐宮仙始御昼休掛札	町指定 有形民俗文化財
18	つなぎ馬の絵馬	町指定 有形民俗文化財
18	岩戸楽	町指定 無形民俗文化財
18	岩戸神楽	町指定 無形民俗文化財
19	樺原神楽	町指定 無形民俗文化財
20	安武楽	町指定 無形民俗文化財
21	高塚楽	町指定 無形民俗文化財
22	小原神楽	町指定 無形民俗文化財
23	岩丸神楽	町指定 無形民俗文化財
24	竜神の石量及び記念碑	町指定 史跡
25	芭蕉塚	町指定 史跡
1	大楠神社のサカキ	町指定 天然記念物
18	岩戸見神社のイチイガシ	町指定 天然記念物
25	芭蕉塚のヤマザクラ	町指定 天然記念物
19	樺原のケンボナシ	町指定 天然記念物
26	広幡城址	その他(未指定) 史跡
27	宇留津城址	その他(未指定) 史跡
28	赤幡城址	その他(未指定) 史跡
29	釜倉城址	その他(未指定) 史跡
30	堂山城址	その他(未指定) 史跡
31	小川内城址	その他(未指定) 史跡
32	小山田城址	その他(未指定) 史跡
33	大平城址	その他(未指定) 史跡
34	城井ノ上城址	その他(未指定) 史跡
35	宇都宮氏館跡	その他(未指定) 史跡
36	山本横穴墓	その他(未指定) 史跡
27	宇留津川角遺跡	その他(未指定) 史跡
9	小原岩陰遺跡	その他(未指定) 史跡
5	綱敷天満宮	その他(未指定) 社寺
38	妙見宮葛城神社	その他(未指定) 社寺
39	金富神社	その他(未指定) 社寺
40	紫雲山西福寺	その他(未指定) 社寺
12	日奈古の文殊菩薩	その他(未指定) 社寺
41	真如寺薬師寺	その他(未指定) 社寺
42	弘法大師堂	その他(未指定) 社寺
43	法蓮寺の薬師如来	その他(未指定) 社寺
44	法然寺	その他(未指定) 社寺
45	女鹿谷観音堂	その他(未指定) 社寺

注) 17 は築上町歴史民族資料館

番号空欄は個人蔵

6.3 自然環境・景観の状況

●町南部に保安林が広がっているほか、耶馬日田英彦山国定公園に指定されている

南部の森林部の多くは森林法による保安林が指定されています。また、南端部は耶馬日田英彦山国定公園の一部になっています。このほか、良好な自然景観や歴史的景観を有する資源が町内に点在しています。

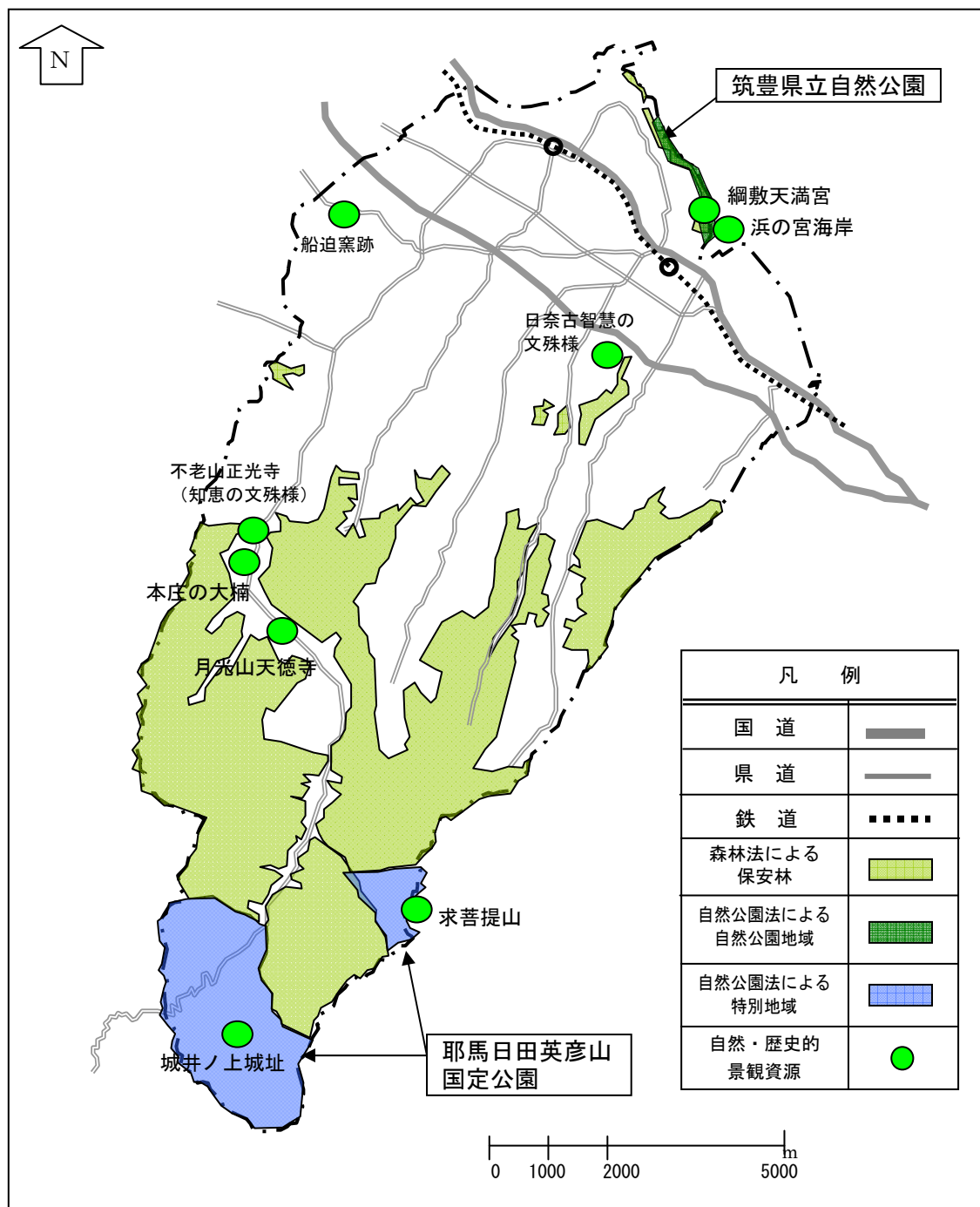


図 景観資源の状況

6.4 防災の状況

●河川沿いの県道に面して、災害予想危険箇所が多い

町南部を中心に土石流危険箇所および急傾斜危険箇所があり、特に河川沿いの県道に面した部分に多くなっています。

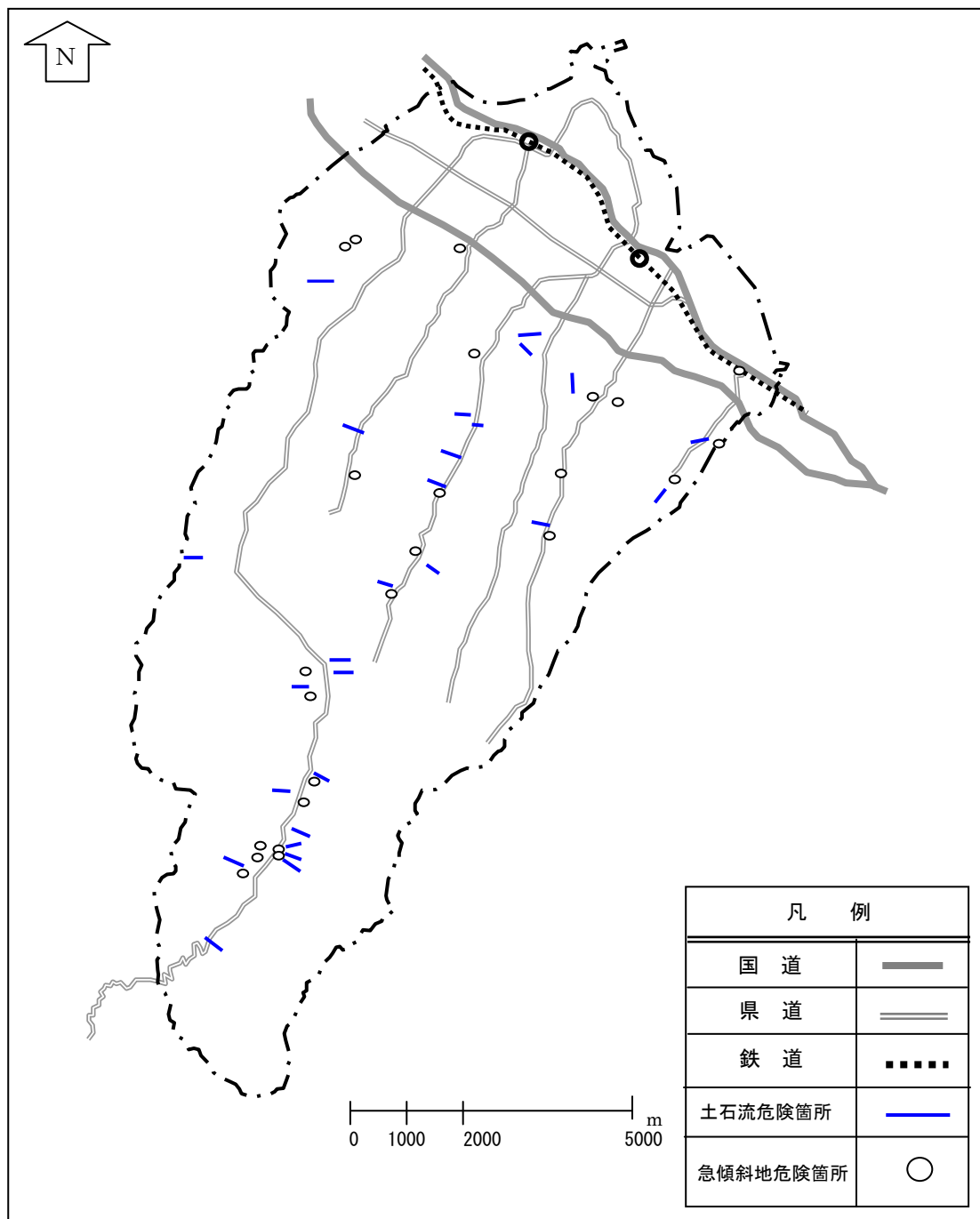


図 災害予想危険箇所位置図(築上町地域防災計画)